

[ 勝ち残る整備事業者のための情報誌 ]

Published by  PROTO RIOS

# MISK

月刊 [エムエスアール]

## 5月号

### メンテナンスショップレポート

令和7年4月5日発行 (毎月5日発行)



[ 特集 ] **今からでも早くない猛暑対策**

[ 連載 ] ウチでもできた! デジタル集客術  
準備運動から本番まで人材を見つめる!  
みんながわかる! OBD検査  
事例と解説 整備業のための補助金活用講座



# オススメ製品のご紹介



## OBD検査用スキャンツール IS-J2534 nano

トータルサポートツールに進化する  
新時代の検査機器

DoIP / ISO13400

次世代通信プロトコル  
新たな車載通信規格に対応

Bluetooth

無線通信による自由度の高い  
OBD検査を実現(有線にも対応)



OPTION 専用アプリを追加することで整備用スキャンツールとしても使用可能

一般社団法人日本自動車機械工具協会 型式試験番号 JASEA-KS-34

**HUNTER**  
Engineering Company

## ホイールアライメントシステム WA670



壁・吊りタイプ



支柱  
タイプ

最新鋭のカメラシステム  
& 簡単セットアップ

HE421シリーズ  
ホークアイカメラセンサー

最新鋭のカメラシステムで、スピーディで  
精緻なアライメント作業を実現

ウインライン

WinAlign®ソフトウェア搭載  
スピーディで高精度な測定と膨大な  
データの蓄積ができる最強のシステム  
コンソールです



**HUNTER**  
Engineering Company

## タッチレス インспекション WU590

車両を通過させるだけで

アライメントやタイヤトレッドを  
瞬時に測定!



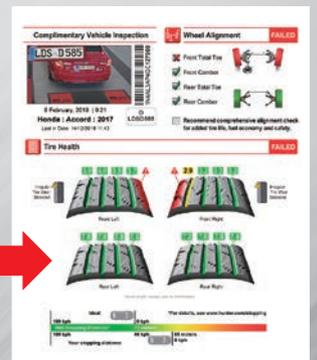
WU590-DRV  
クイック チェック  
ドライブ

車両通過時にホイールア  
ライメントを測定し、瞬時  
に結果を表示



WU590-QTEF  
クイックトレッド エッジ

タイヤのトレッドを測定、その場でデータを解析し、瞬時に結果を表示



株式  
会社 **イヤサカ**

本社 / 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-26-9  
TEL. 03-3833-6110 FAX.03-5688-7074

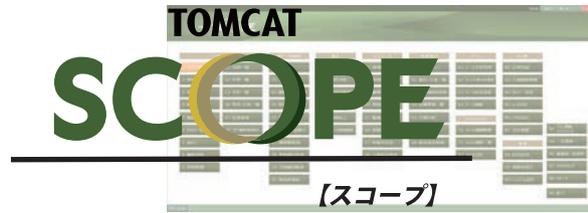
<https://www.iyasaka.co.jp/>



整備業・钣金業 経営戦略システム Strategic Management System For Autoshop and Repairshop

# TOMCAT

自動車整備・钣金業のためのIT。  
自動車整備・钣金業様の売上アップのお手伝いをします。



## このようなお悩みはありませんか？

- 🔧 法改正等が増え続ける日常業務
- 🔧 手間増加 / 単価減少の対策
- 🔧 リース車輛の管理手間
- 🔧 インボイス対応
- 🔧 事務効率アップ
- 🔧 人材に対する課題



- 🔧 顧客対応力の強化
- 🔧 顧客満足の上向
- 🔧 顧客の固定化
- 🔧 在庫促進と固定
- 🔧 競合他社との比較
- 🔧 単価下落への対策



## システムの差が企業力の差として表れる時代です。

フロントの対応力や営業力を向上させて効率アップ  
時代の変化にあわせた最新のシステムプログラムの提供



札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡  
株式会社システムジャパン

www.systemjapan.co.jp

〒455-0001 名古屋市港区七番町5丁目1番地16

TEL. (052)654-5711 FAX. (052)654-5712

お問い合わせ・資料請求  
デモ体験のご相談など



ト ム ニ キ ク  
0120-106299

# デジタルで儲ける整備工場の経営

～DXで実現する業務効率化と新事業で自動車ユーザーも従業員も笑顔に～



月刊メンテナンスショップレポート2025年1～4月号まで連載していた小野健一氏の「自動車整備工場のDX」を増補・書籍化。自動車用品の企画・開発や事業開発、整備工場経営のコンサルティング業務で培った経験を通じて小野氏が導き出した、整備業界のあり方や新たな制度への適応についてDXで切り開く手法を解説。ユーザーも従業員もこれで笑顔に。

## 第1章 変化必須の整備業界

- ディーラーの再編と民間整備工場の商機
- 深刻な整備士不足
- さらば若い日本人整備士
- ベテラン整備士を苦しめる原因
- ASVの普及と事故整備売上への影響
- 後継者不足で廃業する整備工場

## 第2章 想像を超える自動車構造の変革

- EV時代の整備工場
- 移動の概念を変えるコネクティッドカー
- 技術対応必須のADASと自動運転

## 第3章 新しい価値観が創り出すモビリティサービス

- 車を所有しない価値観の誕生
- 月々定額カーリースの魅力
- カーシェアリングと整備工場の役割
- 将来訪れるライドシェア需要
- MaaSが変える未来の交通

## 第4章 新たな制度への適応と成長

- 継続検査OSSは整備業界デジタル化の第一歩
- 整備業界を守った特定整備制度
- 電子化された車検証はどう使う？
- IT化を加速させたOBD検査

## 第5章 DXで儲ける整備事業

- 整備工場のDXはWebサイトから始まる
- Web集客で差をつけるSEO対策
- 地域密着の整備工場こそMEO対策が重要
- SNSが変える整備工場の未来
- MAサービスは顧客に寄り添う最強DXツール
- ネット予約システムは人手不足の切り札
- 便利過ぎる今どきの整備業務システム
- 整備工場のキャッシュレス化はメリットがいっぱい
- 整備工場でレジアプリは使えるか
- 効率化も経営分析も簡単な会計ソフト

## 第6章 DXで切り開く整備工場の新規事業

- リース車両の入庫が事業継続の鍵
- 民間工場にもメンテナンスバック
- 特装・架装で新たな価値とビジネス
- 整備履歴で中古車市場のDX・透明化
- メーカー向け整備工場の知見やデータ提供・販売事業
- 部品在庫システムの共同開発事業
- 事故データの抽出・解析で原因究明ビジネス
- 中古車輸出にはDXを果たした整備工場の力が必要
- EVの充電設備で新たな価値を
- 可能性は無限大？地域社会との連携でDX



著者：小野 健一

ビスピット株式会社 代表取締役

2006年兵庫県立大学大学院を修了後、自動車部品メーカーで14年間、用品の企画から設計・販売まで一貫した事業開発を経験。2020年に自動車アフターマーケット向けの事業開発を行うビスピットを創業。幼少期の夢であった自動車整備業に特化し、自動運転システムに関する事業開発業務の受託、そこから得られる業界動向をもとに自動車整備工場向け事業の開発、顧問での経営支援等を行う。

定価 **3,080** 円 (税込・送料込)

A5判 184ページ

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。



【ホームページ】  
<https://www.proto-rios.co.jp>



【BSRWeb】  
<https://bsrweb.jp/>

[勝ち残る整備事業者のための情報誌]

MSR

月刊メンテナンスショップレポート  
令和7年4月5日発行 ¥0  
5月号



## [表紙写真]

近年、気温の上昇する時期が早まっている感がある。炎天下にさらされた自動車は熱を帯びるだけに、暑い時期はなおのこと温度対策が求められる。

## Webで閲覧できます

MSRは全国の配布協力業者からお届けします。お近くに配布協力業者がない場合、下記より閲覧できます。

<https://bsrweb.jp/>
メンテナンス  
ショップレポート

発行人 小川直紀  
編集長 八木正純  
編集・制作スタッフ 長谷川明憲、樋口祥三郎  
高橋美穂、青山竜  
木下慶亮、武井宏樹  
古瀬敏之、市井康義  
加戸利一  
取材協力 泉山大（プロジェクトD）

発行所 株式会社プロトリオス

[東京編集課]

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3  
TEL03-5939-4133 FAX03-5939-4135

[大阪編集課]

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-3-7  
TEL06-6227-5601 FAX06-6227-5606

印刷所 共立印刷株式会社

## 特集

## 07 今からでも早くない猛暑対策

5月の連休を過ぎると、もう夏か？といった具合の昨今。国でも熱中症対策キャンペーンを同時期に始めるなど、猛暑対策は早いに越したことはない。

- 9 ... [商品紹介・開発者インタビュー](#) ポーラメディカル「カオカラ」
- 10 ... [商品紹介](#) イヤサカ「スムーザー大型」 [導入事例](#) メルセデス・ベンツ福岡東店
- 11 ... [商品紹介](#) イヤサカ「冷えルーフ」 [導入事例](#) ボディサービス福岡
- 12 ... [商品紹介](#) アプティ「空調環境改善設備・エアコン定額サービス」  
[商品紹介](#) 安全自動車「遮熱材 サーモバリア」  
[商品紹介](#) アンデックス「トルネードシステム」
- 13 ... [商品紹介](#) 喜一工具「SIGNET ポケットファン EXF-312NB」  
[商品紹介](#) 進勇商事「ICED WATER VERTICAL VEST」  
[商品紹介](#) バンザイ「マルチキューブ」・「高速シートシャッター」・「IS遮熱シート」

06 [特報] 2024年度 補正予算スキャンツール補助事業を開始！  
国交省、第29回「自動車整備技術の高度化検討会」を開催

## 工場ルポルターージュ

## 14 エフテック（千葉県千葉市）

## 写真ニュース

- 24 第22回 国際オートアフターマーケット EXPO2025
- 29 イヤサカ、足回り整備機器の実演・展示内覧会を開催

## 注目の話題

- 35 第58回「整備需要等の動向調査」の集計結果を発表 日整連

## 情報

- 16 新製品情報
- 20 業界ニュースひろい読み
- 22 情報BOX
- 23 OBD 検査 INFORMATION

## 連載記事

- 30 みんながわかる！ OBD 検査  
寄稿 佐野和昭
- 32 準備運動から本番まで人材を見つめる！  
さいよう かつやく  
寄稿 チームエル 関友信
- 33 ウチでもできた！ デジタル集客術  
寄稿 ヤマウチ 人見いづみ
- 34 事例と解説 整備業のための補助金活用講座  
寄稿 フォーバル 山田健一

※ 業界徒然草、みんなの修理事例は休載いたします。

## 2024年度補正予算スキャンツール補助事業を開始!

国土交通省は、自動車整備技術の高度化を図り、自動車の事故防止を推進するため、自動車整備事業者に対してスキャンツールの導入等を支援している。かねてより2024年度の補正予算にて10億5,000万円の予算を確保、年度内には再び申請受け付けを開始すると見られていたがようやく決定した。

**1.申請期間** 2025年3月31日(月)10時 ~ 2026年1月30日(金)17時 ※先着順のため予算がなくなり次第終了

**2.補助対象事業者** 自動車整備事業者 ※電子制御装置整備の認証を受けていない事業者にあつては、今後認証を申請予定である者に限る

**3.補助概要** (1) 一定の要件を満たすスキャンツール (構成部品であるPC等を含む) を購入する経費の一部を補助 (補助率: 1/3、1事業場当たりの補助上限額: 15万円)  
(2) スキャンツール活用のための研修の受講費の一部を補助 (補助率: 1/3、1事業場当たりの補助上限額: 1万円)

※2024年4月1日以降にスキャンツール等を購入または研修を受講した費用が補助対象

### 4.申請方法及び問い合わせ先

補助対象機器・研修、公募要領、申請様式など補助事業に関する詳細については、右記のWebサイト開設後に補助事業の事務を行う「TOPPAN」へ相談

<http://hogo-zoushin-r6h.jp/>  
(公募受け付けは3月31日10時より)



## 国土交通省、第29回「自動車整備技術の高度化検討会」を開催

国土交通省は3月21日、第29回「自動車整備技術の高度化検討会」をAP東京八重洲(東京都中央区)で開催。2024年12月の第1回「OBD検査モニタリング会合」でも方針が示されていた標準仕様の汎用スキャンツール(標準機)機能強化と、その上で必要な情報提供ルール見直しを中心に議論した。

2021年1月にUN-155(国際連合・サイバーセキュリティシステムに係る協定規則)が発効したことを契機に、セキュリティゲートウェイ(SGW)が各車両へ搭載されるようになった結果、純正スキャンツール(純正機)を所有するディーラーでなければ実施できない作業が増大。一方でディーラーにおいても整備士不足と働き方改革によって受け入れ能力の限界を迎えつつあり、専業整備

工場がディーラーへ作業を依頼しても納期が長い、または対応してもらえないといった問題が顕在化しつつある。

また、認証・指定工場を対象にした整備情報及びスキャンツールに関する困り事のwebアンケート調査を2024年9~12月に実施したところ、前述の問題に加え、輸入車や大型車を中心に入手しにくい整備情報があること、またスキャンツール及びエイミング機材の購入・更新費用に関する問題も、詳細かつ多く寄せられた。

こうした現状を受け、汎用スキャンツールの抜本的機能強化を図るとともに、整備情報の提供方法見直しを検討することに。また、カーメーカーが保有するOBD情報をベースとする標準機が、契約が複雑かつ高額といった問題からほとんど開発されていない実態を踏まえ、公的な第三者機関

がOBD情報を一元的に購入・管理し、一定の要件を満たすスキャンツールメーカーへ有償提供する新たなスキームを構築。標準機が純正機と同様にサーバー認証を受けSGWを通過できる枠組みを作る方針が示され、大筋合意を得た。なおこれに伴い、リバースエンジニアリングを含む標準機はその旨を宣言することとし、かつ政府は標準機の普及に応じてリバースエンジニアリング機を段階的に縮小する方針を示している。





特集

# 今からでも早くない猛暑対策

## 近年感じる5月の気温上昇の早さ

2025年も第1四半期を終えようとしている。近年では5月も連休を明ければ、初夏を飛び越えたかのような暑さを感じることも少なくない。実際のところどうなのだろうか。

表1は気象庁の過去の気象データ検索ページにて本誌が調べた、主要拠点の平均気温で、2013年からの12年間のデータである。

これによると、本州のほとんどの拠点ではおおむね20°C前後で推移しているのに対し、札幌、仙台においては2013年度

比で3~4°Cほど上がっていることに気づく。那覇については25°C超えも散見される。

上記のように5月の気温上昇は一部地域に限られる現象であるが、他の地域が今後もこのまま推移するとも限らない。暑さとともに訪れるのが熱中症のリスクであり、対策が早いに越したことはない。

## 厚生労働省では今年もクールワークキャンペーンを5~9月で実施

実際に、厚生労働省では2月28日付で、「STOP! 熱中症 クールワークキャン

ペーン」を5月から9月まで実施すると発表している。

本キャンペーンは、労働災害防止団体などと連携し、事業場への熱中症予防に関する周知・啓発を行う他、熱中症に関する資料やオンライン講習動画等を掲載しているポータルサイトを運営するというもの。

周知、啓発に当たっては、近年死者数が1年間で30人程度の状況(2024年の速報値では、死亡を含む休業4日以上の死傷者数は1,195人)が続いているため、[1] 暑さ指数(WBGT)\*の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に

※暑さ指数(WBGT)とは 気温に加え、湿度、風速、輻射(放射)熱を考慮した暑熱環境によるストレスの評価を行う暑さの指数。

表1 主要拠点の5月の平均気温

(°C)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
札幌	11.3	14.0	14.2	14.9	14.4	13.4	15.7	13.7	13.1	14.9	13.8	14.2
仙台	14.4	16.5	18.0	17.0	17.0	17.0	17.4	16.8	17.0	16.5	16.6	17.8
東京	19.8	20.3	21.1	20.2	20.0	19.8	20.0	19.5	19.6	18.8	19.0	20.0
名古屋	19.4	19.5	21.3	20.6	20.5	19.8	20.4	20.6	19.5	19.5	20.2	19.7
大阪	19.8	19.8	21.5	21.2	21.1	20.1	21.0	20.8	20.0	20.0	20.0	19.4
広島	19.7	19.6	20.5	20.3	20.6	19.8	20.5	20.3	19.5	20.0	19.9	19.6
松山	19.5	19.3	20.2	20.3	20.2	19.8	20.3	20.1	19.5	19.3	19.8	19.5
福岡	20.3	20.5	20.7	20.8	21.0	20.8	21.1	20.4	20.4	20.6	20.2	20.2
那覇	23.7	23.6	24.9	25.7	24.2	25.6	24.2	24.8	25.8	23.5	24.3	24.7

出典：気象庁 過去の気象データ検索ページ

実施すること、[2] 熱中症のおそれのある労働者を早期に見つけ、身体冷却や医療機関への搬送等適切な措置ができるための体制整備等を行うこと、[3] 糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有する者に対して医師等の意見を踏まえた配慮を行うことについて特に重点的に呼びかけられている。

業種別にみると、死傷者数については、全体の約4割が建設業と製造業で発生。また、死亡者数は、建設業が最も多く、製造業及び運送業が同数で続く。多くの事例でWBGTを把握せず、熱中症の発症時・緊急時の措置の確認・周知ができなかったという。

また、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見を有している事例も見られ、医師等の意見を踏まえた配慮がなされていない事例もあったため、今年もキャンペーンが実施される。

### 労働安全衛生規則が一部改正 企業の熱中症対策を義務付け

業種別の結果に自動車整備業がないからと言って、何も対策を打たなくてよいということにはならない。特定の業種に特化したものではないが、厚生労働省では、中小企業の事業主、安全・衛生管理担当者・現場作業員向けに「働く人の今すぐ使える熱中症ガイド」(下図)を公開している。厚生労働省の特設サイトからダウンロードできるので、参照されたし。



また、同じく厚生労働省では、3月12日に開催された第175回労働政策審議会労働安全衛生分科会にて、安全衛生

## 労働安全衛生規則の一部を改正する省令案の概要

### 1 改正の趣旨

熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、熱中症のおそれがある作業員を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することが可能となるよう、事業者に対し、「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」、「関係作業員への周知」を義務付ける。

### 2 改正の概要

○ 以下1、2の事項を事業者に義務付けること。

1 熱中症を生ずるおそれのある作業(※)を行う際に、

①「熱中症の自覚症状がある作業員」

②「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」

がその旨を報告するための体制(連絡先や担当者)を事業場ごとにあらかじめ定め、関係作業員に対して周知すること

2 熱中症を生ずるおそれのある作業を行う際に、

①作業からの離脱

②身体冷却

③必要に応じて医師の診察又は処置を受けさせること

④事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等

など、熱中症の症状の悪化を防止するために必要な措置に関する内容や実施手順を事業場ごとにあらかじめ定め、関係作業員に対して周知すること

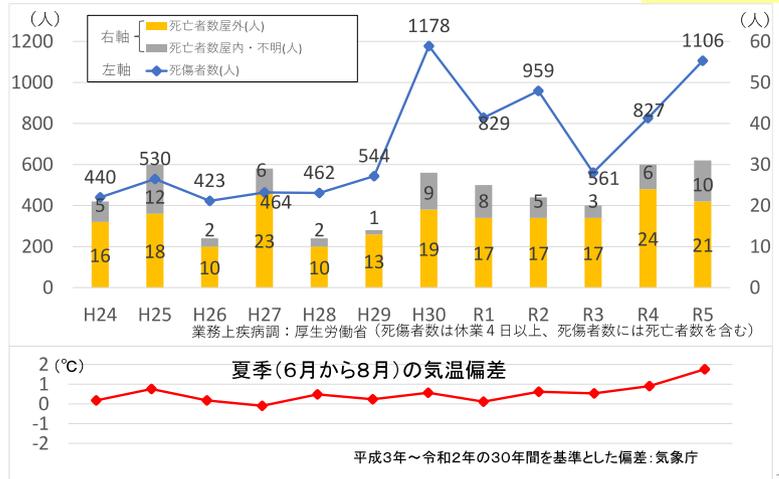
※ WBGT(湿球黒球温度)28度又は気温31度以上の作業場において行われる作業で、継続して1時間以上又は1日当たり4時間を超えて行われることが見込まれるもの

### 3 公布日等

(1) 公布日 令和7年4月上旬(予定) (2) 施行日 令和7年6月1日

## 夏季の気温と職場における熱中症の災害発生状況(H24～)

第174回提出資料



出典：第175回労働政策審議会労働安全衛生分科会 資料

### 厚生労働省の特設サイト

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

### クールワークキャンペーンの実施要項

[https://neccyusho.mhlw.go.jp/pdf/2025/r7\\_neccyusho\\_campaign\\_2.pdf](https://neccyusho.mhlw.go.jp/pdf/2025/r7_neccyusho_campaign_2.pdf)



規則の一部を改正し熱中症対策を企業に求める省令の改正要綱を了承した。

省令案の概要によると、WBGTが28℃以上、または気温31℃以上の環境で連続1時間以上か、1日4時間以上行う作業について、熱中症対策の義務化対象とするというもので、4月上旬に公布、

6月1日施行で準備が進められている。

すなわち、いずれにせよ夏本番を迎える前に、熱中症対策を求められることになるわけだ。本特集の以降のページでは、熱中症対策に有効と思われる商品やその導入事例の数々を紹介する。

熱中症対策いつやるか？今でしょ！

## 商品紹介

## 暑熱対策AIカメラ「カオカラ」

ポーラメディカル » <https://kaokara.jp/>カオ  カラ

同社グループが化粧品開発で培った顔解析の知見を活かし、作業者の表情から暑熱環境におけるリスクを表示。責任者や作業員に気付きを与え、労働・安全管理をサポートするAIカメラ。

作業者はタブレットの前に立って自身の顔を撮影することで、専用学習されたAIが顔の変化による推定と、WBGT（暑さ指数）の外環境情報から判断し、4段階に分けてリスクを知らせてくれる。

作業者は自身の体調を客観的に判断でき、責任者への報告や症状を回避する行動がしやすくなる。また撮影されたデータは責任者の元に集約され、特にリスクが高い作業者に対して優先して声かけをすることもでき、作業者と責任者の双方のコミュニケーション課題の解決にもつながる。

タブレットを設置するだけで導入できるため、塗装や溶接の作業現場にも導入しやすい。



※ 本機器は熱中症の治療、診断、予防を目的としたものではなく、医療機器ではありません。

## 開発者インタビュー

## ポーラメディカル

AIカメラで暑熱環境におけるリスクを画像分析  
作業者の「顔から」始める暑熱対策

経営企画部 池島 俊季 氏  
ポーラメディカル

「カオカラ」のAIカメラは作業者の体温をサーモカメラでは計測するものではなく、WBGT（暑さ指数）とこれまで自社が蓄積してきた40万件超の顔画像のデータをAIが深層学習し、作業者の表情の微細な変化や発汗の度合いを分析し、暑熱環境におけるリスクを4段階で可視化することで、作業者のリスク軽減をサポートするものだ。

すでに自動車メーカーなど製造工場でも導入実績があり、現場にタブレットを設置するだけで測定が可能になるため、腕時計型端末などの装備品で管理することが難しい溶接や塗装作業の現場にもなじみやすい。

開発のきっかけは、自社グループ内での新規事業を立ち上げる際、これまで化粧品の製造開発で培ってきた顔画像データの蓄積と分析の技術を、社会課題を解決するために活かさないかと勘案したのが始まりだ。

中でも暑熱環境における体調不良は他者から気づきにくく、患った本人ですら正確に判断しにくい。「この程度なら大丈夫だろう」と体調不良を押し業務にとりかかり、結果として重篤な症状につながるケースが多く、労働現場での課題となっている。責任者が常につぶさに作業者の体調を観察できればいいが、それは難しい。そこで現場の作業者自身にも視覚的に分かりやすい表示で体調管理が可能な本カメラを開発した。

このAIカメラには熱中症対策において特に2つの大きな効果がある。1つは、作業者が自身のリスクが可視化されることで、

水分補給や、休憩を増やしたりといったリスクに応じた行動がしやすくなる。

そして2つ目は、作業者と責任者のコミュニケーションにつながる事が挙げられる。作業者は自身の体調について責任者に具体的に伝えることができる。責任者も集約されたデータを基に各作業者に声かけをすることで、両方向から熱中症リスクを下げる事が可能になる。実際に導入した現場の声として、導入前は例年5~6人の体調不良の報告があったが、導入年には体調管理への意識が高まり、1人にまで減少したという声も寄せられている。

導入する際は暑さが本格化する前から使い始めるのが効果的だ。早めに対策を習慣化しておくことで体調管理の意識付けができ、夏場の作業者の体調の変化にも気付きやすくなる。また、設置場所は工場内の作業動線上に置き、作業の前後に測定することを習慣付けることで、より効果的に活用できる。



商品紹介

## 高速シートシャッター 「スムーザー 大型」

イヤサカ » <https://www.iyasaka.co.jp>

風や気圧差に強い、パイプ式の高速シートシャッター。屋外に面した設置や耐風性が必要な場合に最適。中でも整備工場におすすめなのは、最大幅10×高さ6mのワイドタイプ。

鋼製シャッターの15倍以上、最大2m/秒の速度で開閉する。利用者の待機時間を最小限にするとともに、空気の流出入を大幅に抑えるため、屋内の冷えた(温めた)空気を維持でき、エネルギー効率を高

めることができる。

パイプ端部のローラーと一新したレール構造により、従来品よりも強風下でもパイプが外れにくく動作が安定した。レール内をローラーが回転してスムーズな動きで開閉し、風でシートが膨らんでもレールから外れにくくなった。

耐久設計基準として50万回の開閉を想定しているなど、長寿命でもある。安全装置として、シート下降前の秒数表示や、上



昇・下降中等の状態表示が可能なカウントダウン表示器も装備。オプションとして、内外の様子が視認できるシート窓も設定できる。

導入事例

### メルセデス・ベンツ福岡東店 (福岡県福岡市)

## エアコンとシートシャッターで整備士のみならず洗車スタッフも快適に!

メルセデス・ベンツ福岡東店は、シュテルン福岡が運営する新車販売拠点2店のうちの1店舗。近隣には福岡空港、博多港があるなど、交通の要衝に位置する。猛暑対策ということで訪問したが、奇しくも取材当日は風が強く、寒さも堪える日となった。そんな寒さも、シートシャッターのおかげで感じることなく、快適な作業環境が確保できていた。

話を聞いた中村賢剛次長は、かつて整備士を務めていただけに、自分事とし

て環境対策に余念がない。「夏の現場は集中力が途切れるほどきついので、快適な現場をいかに作り出すかは喫緊の課題だった。空調ベストの導入だけでは限界があると感じていたので、エアコンとシートシャッターを導入した」と中村次長は語る。

2021年にはメイン工場へ導入し、昨年には併設工場にも導入を完了。快適な環境が整った。特に併設工場では整備士のみならず、洗車スタッフも屋内で快



中村賢剛 氏  
カスタマーサービス部 次長

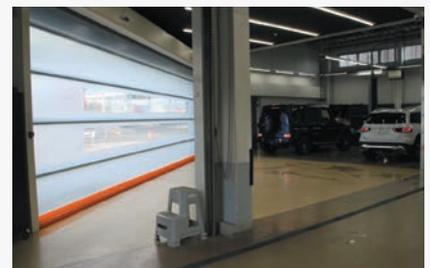
適に作業できるように屋根を延長した上でシートシャッターを設置した。冷房使用の期間が長く、電気代も増したが、「スタッフの快適性には代えられない」と必要コストであることを強調。スタッフ保護の姿勢、結果的につながる車両整備品質へのこだわりを見せた。



外観からも格調の高さがうかがえる



エアコンは天吊り式とカセット式を併用



増築した洗車スペースに設置したシートシャッター

## 商品紹介

## 屋上自然力応用遮熱シート「冷えルーフ」

イヤサカ » <https://www.iyasaka.co.jp>

金属製折板屋根に設置する遮熱シート。太陽光を屋根上でカットし、夏は涼しく冬は暖かい。

太陽光をシートで遮り、日陰を作ることによって屋根自体の温度上昇を抑制する。シートと屋根の間の空間（空気層）が熱の伝わりを防止する。

メーカーによる遮熱性能テストでは、設置前62.6℃に対し、設置後は43.1℃と19.5℃の温度低減を記録した。シートが

雨音を抑制する効果もあり、冬場は保温効果や結露緩和効果を発揮する。

施工費用は他工法の1/2程度で、維持費もかからない。シート寿命は10年以上（加速度耐候試験実施）で、施工後5年間の性能保証付き。耐風圧性能試験・風洞試験実施済みで、国土交通大臣認定も受けている。保証期間内は年1回の無料メンテナンスを行う。



## 導入事例

## ボディサービス福岡（福岡県糟屋郡）

## 本業の手を止めることなく施工可能 快適な環境構築と電気代削減を実現

### 早くから暑さ対策に乗り出した 先見の明あり

九州全域に新中合わせて約90店舗を展開するホンダモビリティ九州。ホンダの関連各社が軒を連ねる敷地の一画で活動するBP集中拠点がボディサービス福岡だ。これほど猛暑・酷暑が叫ばれるよりも以前、5年前にスポットクーラーを導入していたのだが、「それでも夏の現場はサウナ状態。スタッフは慣れてしまっていた

部分もあったが、これはちょっと（厳しいだろう）……」ということで、前園康壽センター長はより良い対策を模索していた。

### ポイントは 天井からの熱を断つことにあり

そうした折、本社からの勧めで3年前に導入したのが屋根にシートを貼ることで屋内への熱伝導を遮断する「冷えルーフ」だった。

「スタッフも『涼しくなって』作業しや



センター長 前園 康壽 氏 (右)

工場長 小野 公裕 氏 (左)

すくなくなった』と口々に言っている。何も対策をしていなければ熱が溜まってくるであろう、午後の時間は特に過ごしやすくなったと聞いている」と前園センター長。

電気代も8%ほど下がり、スポットクーラーも要らないこともある。スタッフが働きやすい環境を作れば、最終的には売り上げも上がる。もはや導入しない手はないだろう。



特定整備認証も取得し万全の体制



冷えルーフ施工完了直後の様子



横開きの手動シャッターも併用

商品紹介

## 財布にやさしい猛暑対策 「空調環境改善設備・エアコン定額サービス」

アプティ » <https://upty.jp/>

人材サービスに携わった経験を通じて生まれたユニークなサービス。昨今、転職の理由として「整備工場内が暑い・寒い」を給与面の不満に次いで挙げる整備士が増えている。

しかし、整備現場に高圧受変電設備を含めて0からエアコンを導入しようとする、数千万円かかるため、一部の店舗にしか導入できない問題があった。

そこに着目し、初期導入費用0円、月々

の定額料金のみでエアコン+シートシャッターを導入できるのが、この「空調環境改善設備・エアコン定額サービス」だ。

導入メーカー選定から工事完了まで、アプティが徹底サポート。リース期間中の故障修理費用、メンテナンス費用も0円で、3ヵ月に一度必要な空調機フロン排出抑制法への対応も、IoTシステムのモニタリングによって導入工場が手を煩わされることもない。また、通常では別で手配する必要

がある施工業者もメーカーで一括対応。工事完了まで最短3ヵ月を実現している。



商品紹介

## 遮熱の力で熱環境を改善 「遮熱材 サーモバリア」

安全自動車 » <https://www.anzen.co.jp>

断熱材だけでは防げない、輻射熱を97%カットする遮熱材。工場の屋根や壁に使用することで、夏の太陽の輻射熱による建物の温度上昇を抑え、体感温度を下げるができる遮熱材。建物の光熱費の抑制も期待できる。

輻射熱とは、風が吹いていても暖かさが伝わる電磁波による熱のことで、主に太陽や電気ストーブから放射される熱が輻射熱にあたり、本製品は輻射熱に対して大きな効果を発揮する。

その秘密は純度99%以上のアルミ箔を使用し

ていること。アルミの純度が高ければ高いほど反射率は高くなり、遮熱効果が高くなる。また、本製品は放射率が低く、物体から放出される熱を抑える(=閉じ込める)特性もあるため、「夏は涼しく、冬は暖かい」を安価で簡単に実現できる。

ただし、対流熱と伝導熱にはあまり効果がないため、これを食い止める断熱材と併用することで、断熱材では止められない輻射熱をサーモバリアで止めることが有効な手段となっている。



商品紹介

## スポットゾーン冷房システム 「トルネードシステム」

アンデックス » <https://www.andex.co.jp/>

整備工場内の必要な場所だけを冷やすことができ、省エネルギーを実現しながら作業環境を向上させる工業用向け冷房ユニット「トルネードシステム」。

従来のスポットクーラーと違い、室外機から屋外に排熱することで工場全体の温度を快適に保つことが可能。

作業者は7m離れた地点でも風速1.2m/sの涼しい風を体感できる。また作業者が不在で、冷房が不要な場所の運転をOFFにすることで消費電力が抑えられ、ランニングコストの大幅に削減にも寄与する。

自立型のユニットは大掛かりなダクト工事が不要で設置場所が自由に選択可能。また、稼働幅を6パターンから選択できるオートスイング機能付きで、幅広いエリアを冷房できる。



商品紹介

## 風力4段階切り替えて体調管理 「SIGNET ポケットファン EXF-312NB」

喜一工具 » <https://www.kiichi.co.jp/>

風力モードを4段階搭載した充電式のポケットファン。2000mAhバッテリー搭載で約4.5時間の充電により最大17時間稼働可能。自然な風を感じられる「間欠モード」もあり、その日の気温や自身の体調に合わせてフレキシブルに使い分けができる。

サイズは約132×68×35mm、重さは85gと軽量かつ手のひらに収まるサイズで携帯しやすい。ストラップが付属し作業場での落下を防止。自立スタンド付きでデスク作業時にも使いやすい。



商品紹介

## 循環式冷水ベスト 「ICED WATER VERTICAL VEST」

進勇商事 » <https://www.shinyusan.com/>

「ICED WATER VERTICAL VEST (アイスト ウォーター ヴァーティカルベスト)」は、シート型ウォータータンクを採用した循環式冷水ベスト。

従来のタイプに比べて背中部分の厚みがなく、負担を軽減。シート型の内部の水が循環することで、隅々までまんべんなく涼しさを感じられる。

ウォータータンクに冷水と凍らせた保冷剤を入れることで、冷たい水が効率よく広範囲に循環し、即効でクールダウン。3段階のモード切替で長時間の使用も可能。また、シート型ウォータータンクは取り外しでき、ベスト本体はネットに入れて洗濯できるため、メンテナンスも簡単。

付属品：シート型ウォータータンク（ポンプ付）ケーブル、専用バッテリー、USBケーブル、保冷パック×2、取扱説明書。



商品紹介

## 「マルチキューブ」・「高速シートシャッター」・「IS遮熱シート」

バンザイ » <https://www.banzai.co.jp>

**マルチキューブ** 1台ごとにワイヤードリモコンで温度・風量が設定可能な個別スポット空調。大型プロペラファンにより、業界トップクラスの最大風量19m<sup>3</sup>/分を実現し、やわらかい風から遠くに届く強い風までOK。ダクト工事が不要で据え付けや移設も簡単なためレイアウトも自由自在。

**高速シートシャッター** 省スペースでコンパクト、移設も簡単なユニット式でスチールシャッターの約20倍という高速開閉が可能。

開閉はセンサーにより自動で行うため、出入りや作業効率の向上が期待できる。開放時間を調整することで空調効果も高められる。防虫、防塵にも効果を発揮する。

**IS遮熱シート** 天井内側に貼ることで輻射熱を97%ブロック（反射）するアルミシート。高純度99%のアルミニウムを薄くシート状に延ばしている。整備工場の工場屋根に裏に施工することで、夏場の工場内の温度上昇を防ぐことが可能。また遮熱シート

と空調機を組み合わせることで、より効果的に室温を調整できる。



マルチキューブ



高速シートシャッター



IS遮熱シート



## BCP対策と生産効率向上を両立し、社会課題をリスクヘッジ サステナブルな新拠点は「呼吸する工場」

気候変動、そして人口減少による人手不足と賃上げ、そして物流業界は2024年問題を抱える。100年に一度とも言われる自動車産業の変革は自動車整備にも持続可能性の課題を突きつける。そうした問題に常に向き合い続けてきたのがエフテックである。森孝司社長の経営眼の下、同社の進化は続く。その同社の新拠点がまさにサステナブル経営の具現化する「呼吸する工場」である。

**工場概要**

代表取締役：森 孝司 本社：千葉県千葉市若葉区上泉町958-56 創業：1974年 スタッフ数：30人（整備士23人）

### 社会課題と向き合い続ける エフテックの自動車整備

1974年（昭和49年）の創業時からエフテックは社会課題と向き合い、解決する整備メニューを築いてきた。たとえば、予防・予測計画整備で物流企業と契約するトラックモニタリングサービスは1980年代からスタート、拡大する物流市場を睨み展開してきた。

「経済活動に欠かせない物流社会において、企業が最も恐れるのは物流が止まること。車が壊れる前に予防と予測整備を行うことで整備コストの削減を提案した」（森社長）。物流の2024年

問題が顕在化し、社会問題となったが、森社長はもう40年以上前から、物流の課題について、予測、整備での解決に力を注いできたのである。

「人口減少、気候変動については、もう随分前から学者が警鐘を鳴らしてきた。これまで、私は経営者として30年の長期経営計画を立ててきたが、いずれ人手不足や気候変動による様々な課題が企業活動を圧迫することを予測して対策してきた」と森社長は語る。同社が本社工場を千葉市の工業団地、「ちばリサーチパーク」に移転したのは2020年のこと。その新工場は生産効率とBCP対策を両立する次世代の拠点

である。

### 社員の健康を守るのは 経営者の役目

将来的に増加が見込まれる25mのフルトレーラーの入庫に備え、整備作業場は縦列によるスルーレーン方式を採用した。縦列レーンで各整備を行い、そのまま前方から出庫。また各レーンにフロアリフトを設備し、整備士の作業負担を最優先に掲げた。

「生産効率を高めることで業績を上げていく。社員の所得を上げるには、生産性の向上が重要。それをするのは経営者の役目」（森社長）。



1



2



3



4



5

- 1 屋根の高さを13mに設定するとともに、断熱材を設備
- 2 工場南側には大型換気扇を設置。北側から南側に送風し、熱を逃がす
- 3 整備士には常に立ち作業が行えるようツインリフトを設備
- 4 25mフルトレーラーの入庫を想定した整備作業場は縦列のスルーレーン
- 5 重整備ストールにフロアリフトを採用。設備投資が時短を実現し、粗利益を向上

また、森社長は整備士の作業負担の軽減だけでなく、健康面にも細心の注意を払う。

「社員には家族があり、家庭がある。経営者はその家庭も含めて社員の健康を守らなければならない」と強調する森社長が、新工場の暑さ対策として工場設計に加えたのが、天井高の工場デザインと空気循環である。整備工場の天井は一般的に10mを超えるケースは少ない。10mを超えた場合、消防法に準じて消防設備を備えなければならないからだ。しかしながら、同社の新工場は13mもの高さをとった。

一方、空気の循環については、消防設備を備えてまでも、自然の風を工場内で循環させる方法を採用した。このシステムは、センサーによって管理され、室温が一定の温度を超えると場内に設

備した8基の大型換気扇が可動する仕組みとなっている。北側から風を吸い込み、南と西側に送風を行う。これにより、僅か数分で作業場内の空気を入れ替える。熱を伴う空気を入れ替えることで室温は劇的に下がるという。

「今時は空調を入れる整備事業場が多いが、長い目でみると、大型換気扇で循環させる方法の方がコスト負担は少ない」と森社長。その森社長は新工場を「呼吸する工場」と呼ぶ。

また、勤務中に整備士の体調が悪くなった際は、たとえ作業中でも我慢せずに休憩をとっていいと、森社長は現場にメッセージを送った。昨夏は全国的に異常な暑さが続き、少なからず現場は疲弊した。暑さは疲労を蓄積させるため、無理をさせないための配慮である。

こうした暑さ対策の他、同工場は首都直下型地震などに備えたBCP対策にも余念がない。水の確保、食料の備蓄、宿泊体制、そして家族を含めた安否確認をSNSのLINEワークスによって構築している。なお、同社は2020年に経済産業省の「事業継続力強化計画（BCP事業継続計画）

に認定された。

## トレーラー化を予測し カプラー整備に力を注ぐ

2024年問題に揺れ続ける物流業界について森社長は「ロボットによって荷役は自動化されるだろう。運行と荷役の分離は車両のトレーラー化を促進させる」と予測する。

そこで同社では10年前からトレーラーの連結部であるカプラーに着目した整備に力を入れてきた。ジョーとキングピンの摩耗度測定をはじめ、詳細な点検項目を設けるとともに、カプラーの指定整備記録簿を独自に作成した。キングピンが摩耗すると連結部にクリアランスが生じ、ブレーキ時などの際、荷台が動いてドライバーに衝撃が加わるという問題も、同整備で解決されるという。近年、同社の入念なカプラー整備が口コミで広がり、他県からの入庫も増えているようだ。

ユーザーの働き方改革をも促す能動的な自動車整備、そして入念なBCP事業継続計画の実践で持続的な企業活動を実践する同社。その取り組みは明日の自動車整備を照らしている。

TEXT：泉山大（プロジェクトD）



排気ガス浄化システムのメンテナンス、DPRアクティブメンテナンス（ビジネスモデル特許取得）。

## 整備機器全般

 簡単操作で空気注入

**SIGNET**

### 「電動空気入れエアープンプ」

コンパクトで持ち運びやすい充電式のエアポンプ。満充電時、一定量の空気圧が入ったタイヤに4~5本分空気注入できる。自動停止機能及び液晶ディスプレイ付きで操作が簡単。LEDライト機能もあり暗所でも作業ができる。付属のType-Cコネクターより充電。USB充電ポート付きで、ほかのデバイスの充電に使用可能。

最大圧力 (PSI) : 160  
 バッテリー容量 : 2,000mAh  
 充電時間 : 約3時間  
 サイズ : 62×63×160mm  
 重量 : 566g



**喜一工具** TEL 06-4306-3638

大阪府東大阪市本庄西2-6-11 <https://www.kiichi.co.jp/>

## 整備機器全般

 高さ調整や垂直の位置出しが容易なミリ波用ターゲット

### 「スマートリフレクター SAS-002」

国産・輸入車に対応したミリ波用ターゲット。リフレクター中央後部に伸縮可動のミリ波レーダーポインターを装備。本体支柱の両側に高さ表示 (mm単位) があり、左右どちらからも高さ設定がしやすい。台座には垂直のガイドラインが付いており、台座真上がリフレクターターゲットの測定点となるよう設計されている。サイズ: 横180×幅180×高さ1200mm、ターゲット地上高: 約190~970mm、重量: 1.45kg。



**セイルシステム** TEL 06-4703-0021

大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟9階 K-2 <https://www.my-starnetwork.com/meister/>

## 整備機器全般

 コンパクトかつハイパワーでバッテリー上がりを解消

**SIGNET**

### 「12V専用ジャンプスターター/モバイルバッテリー」

12V バッテリーを搭載している自動車、バイクなどのバッテリー上がりを解消できるジャンプスターターとブースターケーブルのセット。最大電流 1,000A と強力ながら本体重量 400g と軽量。ジャンプスターターには液晶パネルが付いており、車両のバッテリー電圧測定が可能なほか、各種急速充電できるモバイルバッテリーや LED ライトとしても使用できる。充電時間: 約 3~4 時間 (Type-C)、サイズ: 横 160× 縦 80× 高さ 35mm。専用収納ケース付き。



**喜一工具** TEL 06-4306-3638

大阪府東大阪市本庄西2-6-11 <https://www.kiichi.co.jp/>

## 整備機器全般

 シャシ塗装用スプレーガン

### 「シャーシー塗装ガン E83C」

車の足回りなどのシャシを塗装する際の連続塗装に適したスプレーガン。パーツ洗浄の際にクリーナーを塗布するのにも使用できる。ノズル口径: 6.5mm、シリコンチューブ: 1.5m。



**WTBワタベコーポレーション** TEL 06-6710-3010

大阪府大阪市東住吉区桑津2-15-6 <https://wtb-watabe.co.jp/>



## グッズ／カー用品／その他



絹のような手触りで愛車を保護する

「ボディカバークロス  
P100シルキー」

スリ傷や静電気が起きにくいよう、薄く柔らかい生地に帯電防止加工を施した室内専用カバー。

高級車及びクラシックカーのガレージ保管以外にも、钣金塗装や整備、ディテール作業待ちの入庫車や作業後の納車待ちの車に埃などが付着しないようカバーするのに適する。サイズは、既存のLL・ハーフにL・M・Sの3種類を新たにラインアップし、さらに車種に応じた用途が広がった。カラーは5色。



## ビッグ

TEL 072-433-1212 大阪府岸和田市加守町3-6-15 <https://osakabig.jp/>

## グッズ類／カー用品／その他



貼るだけで簡単強力補修、好みの色で上塗り可能

## 「BAN-ZI AID (バンジエイド)」

湿布のように貼り付けるだけで簡単に作業できる、紫外線硬化型の強力補修シート。密着性を高める専用プライマーも用意している。

車両の鉄部やFRPなどに対応し、太陽光（紫外線）に当てて最短35分ほどで硬化する。必要量をハサミでカットして使用でき、硬化後のドリルでの穴開けや上塗り塗装も可能。

食品衛生法に適合し、安全に作業できる。サイズは20×30cm、10×15cmの2種類で、各1枚入り。



BAN-ZI TEL 043-307-3339

千葉県千葉市花見川区三角町118 FAX 043-307-3337

## グッズ類／カー用品／その他



顔色や表情をAIカメラで分析、暑熱リスクを可視化して暑さ対策を

## 「カオカラ」

作業者の表情を撮影・分析し暑熱リスクを段階表示。責任者や作業者に気付きを与え、労働・安全管理をサポートするAIカメラ。

タブレットの前に立ち約3秒で撮影と分析が完了。作業者はリスクに応じた行動が取りやすく、責任者は集約されたデータを基に高リスク者へ優先して声かけを実施でき、労務管理に貢献する。



ポラメディカル

<https://kaokara.jp/> E-MAIL [pola.heatstroke@pola.co.jp](mailto:pola.heatstroke@pola.co.jp)

# デントリペア・テクニカルスクール

# 受講生募集!

## デントリペアの全てが詰るカリキュラムがあります!



本気でトップクラスのデントリペアラーを目指すならトップクラスのプロを育成する日本デントショップネットワーク・テクニカルスクールへお越しください! 徹底したマンツーマンでどなたでもプロレベルまで学習して頂けます。開業できるレベルまでデントリペアの全てをお伝えします!

寮費無料・延長無料・マンツーマンでできるまで指導します!

国内最大級【デントリペアスクール】・国内唯一【デントリペアツールショップ】・国際大会【IASRE-JAPAN】等を行うデントリペアのリーディングカンパニーです。資料請求無料! 無料のスクール体験あり! 是非お問い合わせください。

職人になる! あなたの夢を全力でサポートします!

日本デントショップネットワーク

593-8312 大阪府堺市西区草部 750-6

Tel:072-273-5571 Fax:072-273-5572

# デントリペア日本グランプリ 2025年10月3日開催決定!!



2026年の年末に開催される国際デントリペア大会【IASRE-JAPAN2026】の日本代表選手選考会として国内初のデントリペア日本グランプリを開催いたします。競技だけでなくカーディティリング関連の展示即売会やセミナーも同時開催致します。デントリペアの用品やカーディティリング関連の最新情報が詰まるイベントです。

**注目のデントリペア日本王者決定戦!** ※参加資格: 実務経験2年以上の日本国籍のある方ならどなたでも参加いただけます



## 出展企業募集中

展示会同時開催! 出展企業様を募集致します、お問合せくださいませ

開催日 : 2025年10月3日

開催場所 : 堺市産業振興センター

主催 : 日本デントショップネットワーク

日本のみならず海外からも多くの受講生を受け入れている日本デントショップネットワーク。デントリペアの最先端技術だけでなく、集客や営業マナースキルなどのノウハウも学べる「DENT-SHOPテクニカルスクール」の卒業生を紹介。

## 全国で活躍するDENT-SHOPテクニカルスクール卒業生



### デントリペア ミゾジリ

滋賀県大津市雄琴北2-11-14

代表者 溝尻 悟

創業 2010年

事業内容 デントリペア

#### —テクニカルスクールに入学したきっかけは？

愛車の凹みをデントリペアで修理した際にその技術力の高さを目の当たりにし、自分でもぜひ習得してみたくなりテクニカルスクールの門を叩いた。

#### —受講した感想は？

技術者として未経験からのスタートだったが、藤井代表の人柄の温かさに感銘を受けたとともに、スクール生への「なんとしてでも技術を習得させてあげたい」という情熱的な姿勢が印象的だった。授業では、生徒一人ひとりに寄り添ったカリキュラムを設けていたこともこのスクールの素晴らしい点。

#### —今後の取り組みについて

現在は国産車・輸入車を問わず幅広い車種に対応しており、在庫数も安定している。より技術を研鑽していくと共に、さらなる飛躍を目指してデントリペアに取り組んでいきたい。



### デントリペア関西

和歌山県紀の川市深田256-8

大阪府河内長野市日東町2-7

代表者 加藤 智久

創業 2012年

事業内容 デントリペア、ウインドリペア

#### —テクニカルスクールに入学したきっかけは？

前職で自動車関係の仕事をしていた際にテクニカルスクールの生徒募集の広告を見たのが出会いだった。ちょうど自分の手に職を付けたかった時期とも重なり、スクールに通い始めた。

#### —受講した感想は？

当初は苦戦したものの、デントリペアの理論を実践的に学ぶことができたため、未経験でも技術を上達させていくことができると感じた。独立後のサポートも受けられるため、個人で独立したいという考えの人には非常に適したスクール。

#### —今後の取り組みについて

カーオーナーだけでなくディーラーなど幅広い顧客から在庫いただいている。顧客の期待に応えるためにも、ていねいかつ確実なデントリペアを提供し続けていきたい。



# 業界ニュース ひろい読み

2025年2月16日～3月15日の

今知っておくべき業界ニュースを  
一気に読む!

PICK UP NEWS 企業

## 中古車の平均価格が上昇 グーネット掲載の中古車を分析

自動車流通新聞 2月25日

プロトコーポレーションが運営するグーネットに掲載された車両の平均中古車価格についてプロト総研がデータを基に分析した結果を発表した。それによると直近2年間の平均価格はすべてのボデータイプで上昇していることが分かった。その背景には半導体不足による新車供給の遅れに伴う中古車需要の拡大と、円安により海外での日本の中古車への需要拡大があるとみられ、中でもクーペが約160万円、オープンカーは約120万円もの価格上昇が見られた。

PICK UP NEWS 行政・団体

## 自動運転レベル4の路線バス 国内で初めて運行開始

日刊油業報知 (HELLO) 2月18日

国内初の特定条件下における自動運転（レベル4）の中型バス「ひたちBRT自動運転バス」の運行サービスが2月3日より、茨城県日立市で始まった。経済産業省と国土交通省が2021年度から共同で進めてきたプロジェクトの本格運用である。区間8.7kmのうち、自動運転は河原子BRT～南部図書館の約6.1kmを走行し、残りの区間を乗務員が運転する。1日往復8便の運行が予定されており、運行は平日限定。料金は大人200円から480円が設定されている。

PICK UP NEWS 企業

## 愛知オートオークション 52年の歴史に幕

自動車流通新聞 2月25日

愛知オートオークションは1月28日のファイナルオークションをもって、1972年の創設以来、52年続いたオークション事業から撤退し、会場を閉鎖することとした。同会場は72年7月に愛知トヨタ自動車が開業。自動車ディーラーが開催する初のオートオークションとして業界から注目を浴びた。52年の年月を経て、設備の老朽化や出品車ヤード、駐車場スペースの確保の難しさなどの問題が顕在化し、今回の閉鎖に至った。

PICK UP NEWS 企業

## 次世代タイヤ「AirFree」社会実装 富山市とブリヂストンが連携

日刊油業報知 (HELLO) 2月21日

ブリヂストンは富山県富山市との間で「グリーンスローモビリティ (GSM) 運行事業に関する連携協定」を2月13日に締結した。同協定は、富山市が運営するバスタイプとランドカータイプのGSMにブリヂストンの空気充填が要らない次世代タイヤ「AirFree」を装着し、その特性や機能、提供価値を検証するとともに、地域社会のモビリティを支えるための連携と協力を目的としている。2025年中に公道で実証実験を実施する。

PICK UP NEWS 企業

## 空飛ぶクルマ、運行検討開始 2028年、大分県での運行を想定

日刊油業報知 (HELLO) 2月27日

九州エリアにおける、空飛ぶクルマを用いた事業成立の可能性検討の連携協定を締結しているSkyDriveとJR九州は大分県と同県における、空飛ぶクルマの活用による地域発展及び地域課題の解決に向けた包括連携協定を結んだ。2028年頃に別府湾での遊覧サービス、別府市内でのエアタクシー、別府と湯布院をつなぐエアタクシーの運行開始を想定。運賃については、将来的に既存のタクシーと同程度の料金で利用できる体系を目指す。

## OSSの対象車種の拡大 4月1日より二輪小型自動車を追加

国土交通省 2月28日

自動車保有の手続きをオンラインで申請するワンストップサービス（OSS）に4月1日より、二輪の小型自動車（総排気量250cc超、定格出力1.0kW超、幅1.3m超、高さ2.0m超、長さ2.5m超）が追加される。対象手続きは新車購入時の新車新規検査と車検時の継続検査（記録等事務代行制度にも対応）。また、これに伴い新車新規検査における完成検査終了証及び譲渡証明書の電子化と継続検査における納税証明書の電子化も追加される。

## 車体整備事業者による適切な 価格交渉促進の指針をとりまとめ

国土交通省 3月4日

国土交通省では、車体整備事業者の価格交渉対策として事故車修理の価格に関する情報提供窓口の設置、損害保険会社との対話等の推進を実施してきた。今般、国土交通省は車体整備事業者が、損害保険会社等に対して、労務費の転嫁等の価格交渉を行うため、同事業者が取り組むべき内容を指針として策定するとともに、本年7月より価格決定に用いられる「標準作業時間」について、国土交通省が第三者的立場から調査を実施すると発表した。

## 自動配送ロボットの将来像 NEDOワーキング・グループ

日刊油業報知 (HELLO) 3月4日

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は「より配送力の高い自動配送ロボットの社会実装検討ワーキング・グループ（WG）」において有識者や事業者との議論を重ね、目指すべき姿や社会実装に向けたロードマップについて取りまとめた。個人宅への配送、移動販売、B2B（企業間取引）のユースケースを想定し、公道を走行する際のロボットの仕様と安全性の担保を加味し、直近3年間を「集中的な実証実験期間」と定め、関係省庁などと協議を行う。

## スキャンツール機能を ディーラー並みとする高度化を検討

国土交通省 3月12日

国土交通省は3月21日、第29回「自動車整備技術の高度化検討会」を開催した。検討会は整備技術の高度化とスキャンツールの機能向上の必要性と「働きやすい職場づくりガイドライン」の実施状況確認などについて審議。中でも自動車のサイバーセキュリティ対策などにより、「ディーラーでなければ整備できない故障」が増えている懸念から、専業工場がこれらの新技術に対応するためのスキャンツール機能の高度化の課題共有などが行われた。

## マツダ「CX-80」が ファイブスター賞を獲得

国土交通省 3月12日

国土交通省と自動車事故対策機構（ナスバ）が自動車の安全性能を評価・公表する「自動車アセスメント」において、マツダ「CX-80」が最高評価の「ファイブスター賞」を受賞した。マツダ「CX-80」は、予防安全性能評価、衝突安全性能評価ともに最高の「Aランク」であり、エアバッグ作動時や追突された場合にコールセンターへ位置情報やセンサー情報を自動で通報する「事故自動緊急通報装置」を装備することで高い評価を獲得した。

## 自動車保険金の不正請求防止 損保ジャパンが専門部署を創設

日刊油業報知 (HELLO) 3月14日

損害保険ジャパンは自動車保険における保険金の不正請求の防止に向けた取り組みを強化するため、4月より自動車保険の不正事案対応の専門部署を新設するとともに、米国のEISGroupが提供する保険金不正請求検知システムを導入する。これにより、担当者の専門性とデジタルの双方を活用した不正請求検知の高度化と不正請求事案の対応態勢を軸に、公平かつ公正な保険金支払いを実現する。

# 情報

## BOX

information box

### 整備現場の受け入れ キャパシティに関する実態調査

自動車のメンテナンス管理を行うナルネットコミュニケーションズ（鈴木隆志社長）は、全国の自動車整備工場2,308件を対象に、整備士数や入庫台数の増減など整備現場の状況に関するアンケートを実施した。これによると3社に1社は、今以上に入庫台数を増やすことが困難という実態が明らかになった。

「今後、整備車両の受け入れ台数を増やすことはできますか?」という質問に対し、「可能」が38.1%、「条件付きで可能」が26.3%、「不可」が35.7%と、1/3以上の工場が受け入れ台数を現状より増やすことができないと回答した。

受け入れ台数を増やせない理由は「整備士不足」が47.3%と最も多く、次いで「管理・業務のキャパシティーオーバー」が20.1%だった。不可と回答した工場のうち、6割超が人的リソース不足で受け入れ困難としている。

「整備士の数は増えていますか?」という質問に対し、「増えている」は6.4%、「変わらない」は61.0%、「減っている」は32.6%だった。

「整備士が減っている工場」と「入庫台数が増加している工場」が、どちらも規模の大きい工場に集中しており、大規模工場の整備現場がひっ迫している状況が確認できた。

### MSC感動夢工場 第6回研究会を開催



全国各地の有力整備工場で組織するMSC感動夢工場（小川慶一会長、協賛=バンザイ）は2月25・26日、チサンホテル浜松町（東京都港区）及び東京ビッグサイト（同江東区）で第6

回研究会を開催した。

初日は、姉妹誌ポデーショップレポートのエイミング作業実例紹介でもおなじみのプロジェクトD・泉山大氏をファシリテーターに迎えて、「OBD検査フォーラムディスカッション」を開催。事前に会員各社から集めたアンケート結果を基に、OBD検査の適正料金や

オペレーションの仕方などについて活発な意見交換を行った。2日目は、同日より開催された「第22回国際オートアフターマーケットEXPO2025」を見学した。

### オートボックスセブン 賃貸ガレージハウス見学会 鈴木亜久里氏がゲスト参加



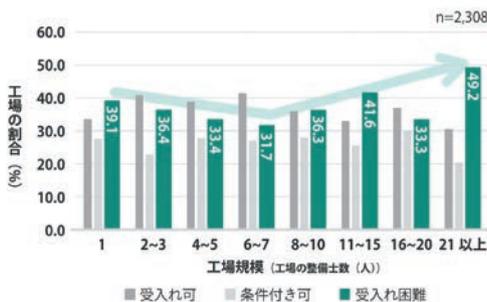
オートボックスセブン（堀井勇吾社長）は、賃貸ガレージハウス3物件目となる「BACSPOT相模原」の新築を記念し、3月14日に完成見学会を実施した。

同社はクルマやバイクなどを愛する人に向けて、愛車と共に過ごす時間と場所を提供したいという思いから、2019年から賃貸ガレージハウス事業をスタート。今回の「BACSPOT相模原」は、圏央道の相模原愛川ICから約1.2km、JR相模線の原当麻駅から徒歩5分という好立地となる。

内外装は黒を基調とし、クルマとバイクが余裕をもって駐車できるスペースを完備。ALSOKのホームセキュリティや、敷地内防犯カメラ、スマホ/カード対応玄関電子錠と、安心の防犯対策を備える。また、洗車に最適な純水器も備えるなど安心してガレージライフを楽しめる設備がそろっている。

取材時点では全7戸中3戸が成約済みとなっており、人気の高さがうかがえた。当日はゲストとして鈴木亜久里氏が登場し、ガレージの質の高さを体験した。

#### Q. 整備車両の受け入れ台数を増やすことはできますか?



整備士の多い比較的大規模な工場ほど受け入れ困難な傾向が強い

NALNET COMMUNICATIONS INC.

## OBD検査対象型式一覧 (2025年4月20日～5月7日)

2025年4月20日から5月7日までに検査対象となる車両の一覧です。  
徐々に対象型式は増えています。これまでの号も併せてご確認ください。

	車名	型式	通称名	種別等	OBD検査開始日
466	いすゞ	ZAB-NPR48AM	エルフ	普通・貨物	2025年5月17日

出典：OBD検査ポータル (<https://www.obd.naltec.go.jp/>)

※ OBD検査開始日が到来していても、初度登録年月または初度検査年月から10ヵ月経過していない場合にはOBD検査の実施は不要

### 認証工場もOBD確認の実施を

3月5日(水)、第2回目となるOBD検査モニタリング会合が開催された。同会合はOBD検査の運用状況を確認するとともに、そこで明らかになった課題に対し、必要に応じて制度やシステムの見直しを行うことを目的に設置された。今回、OBD検査の運用状況が開示され、2024年10月1日から2025年2月23日の約5ヵ月間の検査実績が公表された(右表)。

その結果、不適合率は前回会合(2024年12月2日開催)で公表されたデータと比較していずれも減少はしたものの、8万3,606台の検査実績のうち、4.6%が不適合となった。中でも深刻なのが、登録車の持ち込み検査である。自動車技術総合機構の検査場における不適合率は前回の結果において13.5%となり、おおよそ7台か8台に1台の割合で不適合となる中、今回も11.9%という高い数値で推移した。持ち込みで検査を行う認証工場の場合、不適合となれば、また事業場に戻って整備をしなければならず、コストと時間のロスが大きい。また、郡部に事業場を持つ事業者であれば、検査場までの行き来に時間を要することも珍しくなく、そ

検査実施主体	検査台数			
	計	不適合なし	不適合あり	不適合あり率
指定自動車整備工場	67,842	64,765	3,077	4.5%
自動車技術総合機構	3,169	2,792	377	11.9%
軽自動車検査協会	12,595	12,201	394	3.1%
計	83,606	79,758	3,848	4.6%

の負担はさらに大きいだろう。やはり、認証工場においても検査用スキャンツールを保有し、検査場に持ち込む前に「OBD確認」をすることが、そのリスクを回避する最善の方策といえる。なお、認証工場が「OBD確認」をし、持ち込んだ場合、検査場でのOBD検査は原則省略される。また、自社で「OBD確認」を行い、帳票のエビデンスを提示すれば、お客様から検査料金をいただきやすくなるはずだ。

### 電子制御装置整備の体制確立が急務

認証工場にはもうひとつ重大な懸念がある。OBD検査で安全系の特定DTCが検出された際の対応だ。認証工場における電子制御装置整備認証の取得率は低調であり、安全系の特定DTCが検出された際は自社で整備を行うことができないケースが多い。この場合、外注に出

すことを想定していると思われるが、果たしてその準備は万全だろうか。ちなみに指定整備工場で安全系特定DTCが検出された割合は1.7%であるが、指定整備工場でも入庫時にOBD確認を行っている事業者は多く、そこで特定DTCが検出されている例もあると推測されるため、実際はもっと特定DTCが検出されているはずである。

したがって認証工場は、電子制御装置整備を自社で行えるよう認証の変更をするか、外注によるバックアップ体制を確立するかの対応が早期に必要となる。

TEXT: 泉山 大(プロジェクトD)



# International Auto Aftermarket EXPO

## 第22回 国際オートアフターマーケット EXPO 2025

2025年2月26日(水)～28日(金)  
東京ビッグサイト南1～4ホール

今年は例年よりもさらに早く、第22回国際オートアフターマーケットEXPO2025が2月26～28日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された。国内約200社・団体が出展し、延べ15のセミナー、29の出展者プレゼンテーションも開催された。また、おなじみの塗装実演コーナーが会期中の3日間にわたって開催されるなど、わずかではあるが来場登録者は前年を上回った（来場登録者は3日合計で17,453人）。改めてここでは注目を集めた主要な出展内容を紹介する。

### 安全自動車



故障診断からホイールアライメント計測・調整、エイミングまで1台で完結できる「MaxiSys ADAS IA900WA」。設置工事が不要な可搬式で、作業を行わない時はストール外へ移動可能。ハイエンドモデルのスキヤンツール「MaxiSys Ultra」も付属するなどコストパフォーマンスが高い



カメラエイミングの前工程、ガラス補修用に飛び石傷補修システムの決定版「ZoomII」。システムの中核機材であるインジェクターは世界トップクラスの真空力を持ち、簡単操作ながら傷跡が目立ちにくい仕上がり、を実現。用途に合わせた3種類のキットを用意している

### イヤサカ



業界初の二輪車すれ違い前照灯（UN R198/112/113）の測定に対応したヘッドライトテスター。手でランプ正対し、カラーCMOSカメラで配光を画像処理。すれ違い灯・走行灯の照射方向と光度を自動で測定・合否判定結果を業界最大のLCD21インチモニターに表示



機器のコントロール部分と、操作部分や洗浄ガンを分離することで、複数台（最大6台）の洗車ブースを集中管理できる高圧洗浄機「オートウォッシャーAW-8000」。洗車コースのカスタマイズが可能。他、支払い方法もキャッシュレス決済やQRコード決済にも対応

### グラスウエルドジャパン



IHの強力加熱で鋼板を膨張させて補修する画期的なデントリペアシステム「T-Hotbox」。100Vの電源につなぐだけでセッティングでき、コンパクトで持ち運びも便利のため、出張作業にも最適。超高張力鋼板にも対応し、塗膜をはがさずに絞れ、短時間で粗出しが可能



ガラス交換・脱着システム「SPIDER4」。ラバーパッド（吸盤）がリニューアルされ、グリップ力が向上。工程がシンプルで作業時間は15～20分、1人でも作業可能。大型車用の「BISON」もラインアップ。直径約21cmの大型吸盤で強力な吸着力を発揮する

## ケキテック



代表の金子幸嗣氏を中心に、可逆転式シングル回転ポリッシャー「Maill Master」などを使って研磨作業を実演。従来数値化できなかった「研磨後のきれいさ」や「研磨力の大小」、「消した傷の深さから残る傷の深さを幅で表す」などを、測色機を用いて詳説



同社が扱うバフ、コンパウンド、ポリッシャー等を展示した他、代表の金子氏が登場する解説DVD「塗装研磨の本質他」が希望者に無料配布された。そのことも相まってか、3日間の会期中は見学者の列が途絶えないほどで、常に盛況だった

## アイシン



特製の小型タイヤチェーンなど整備機材を搭載したサービス車両「出張整備ビークル」を展示。機材はすべて備え付け。架装も完了した状態で納車されるため納車日から業務ができる

## アプティ



グループ会社のアプティグローバルで外国人採用サービスを開始。インドネシアなどの地域でも何人でも確実に20代の若手が採用できる。政府連携の育成プログラムや日本語教育などサポートも充実

## インターサポート



スキャンツール「G-SCAN」を大いに活用する上で欠かせないサポートセンター「G-SUPPORT」がパワーアップ。AIが診断作業をサポート。技術研修会「G-TRAINING」はオンラインセミナーを準備中

## NKD JAPAN



同社カラーラッピングフィルムと施工した様子をVR上で確認できるシステムを紹介。カーオーナーは360°車体を確認できる。パーツごとにフィルムを変えたり、背景を変えて質感を確認できる

## エムエスピー販売



自動車整備業務をデジタル化することでミスの未然防止を支援する「Web継続システム」。継続OSSと連携し、点検記録簿と保安基準適合証を電子化できる

## エンパイア自動車



自動車用診断ツールを世界で初めてリリースしたACTIA社製のOBD検査用スキャンツール「ACTIA Basic One」。Wi-FiモデルとUSBモデル(近日発売予定)の2タイプでDoIPにも対応予定

## オートバックステジアルイニシアチブ



オートバックのピットに入庫した車のナンバープレートを検知し、録画映像が自動的に顧客のスマホに映し出される技術を紹介した。今後はこの技術をオートバック外に展開していく

## 大野ゴム工業



自動車のアフターパーツだけでなく、二輪車のアフターパーツを展示。他にもリフト用のパッドなども手掛けており、IAAEで露出し、同業他社で取り扱っていない製品もあることをアピールした。

## 京都機械工具



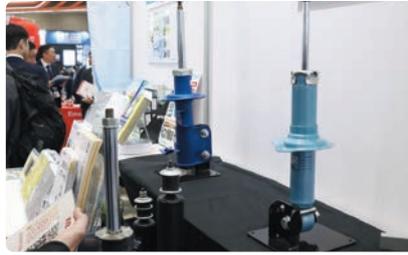
測定データを自動で送信・入力が行えるデジタルトルクレンチ「メモルク」と、Excelに追加するだけで測定データを管理できるアプリをセットした「KTCお手軽DXスターターパック」をPR

## グリーンテックジャパン



車体に傷を付けないドライアイスクリーナー「GT-110M」と「GT-22COM」を展示。サビやグリス洗浄から車室清掃まで幅広く対応。22COMはソフト洗浄では110Mと同等以上の性能を発揮

## KYB



同社はショックアブソーバーの国内シェア40%、世界シェア13%の世界的企業。整備用で扱う純正相当品のショックアブソーバーと、市販用の高性能品を展示し品質の高さをアピールした

## 三洋貿易



EV・PHEVバッテリーの劣化度合いを30秒で簡単に診断できる高速バッテリー診断機と、車体から取り外したバッテリーの昇降機を展示し、EVの整備の大幅効率化をアピールした

## 重光商事



自動車整備業界の洗車サービス需要拡大に応える様々なタオル製品を紹介。「ちぎって使えるマイクロファイバークロール」はトイレペーパーのように都合新しいタオルを切り取って使用できる

## スタンレー電気



2026年8月にロービーム車検に完全に移行することを受けて、同社のバルブを展示。ロービームの光量が足りなかった場合に、保管してあれば、整備工場の効率アップにつながることをアピールした

## スナップオン・ツールズ



整備/検査兼用スキャンツール「nanoBT2」と幅広い輸入車メーカーに対応する「iSCAN-VCI」の2機種を組み合わせた新型スキャンツール「MTG-DUAL-TAB2」を展示

## 整備サポート



ホイールアライメントの測定に対応する「IA600」、故障診断、ホイールアライメント確認/調整に対応可能な「IA900WA」など各種エイミングサポートツールをPR

## 全日本ロータス同友会



1,600社による整備ネットワーク、年間690万台の整備実績、年間26.4万台の車販実績、研修制度、ビッグデータの活用、統一ブランド戦略を強みとして、ロータスクラブへの入会を呼びかけた

## 谷川油化興業



SPKブース内に合同出展。ポデーやメッキの水垢にも高い効果を発揮する「スケール除去剤」など同社ケミカル製品は工場サービスの高品質化に大きく貢献する

## WTBワタベコーポレーション



Walcomの新タイプのスプレーガン「スリムコンパクト」。マグネシウムポデーに、防刃ベストなどに使われる素材ケブラーをアウトサート（埋め込み）加工。高温に強く、有機溶剤にも溶けない

## ツールプラネット



OBD検査にも対応したスキャンツール「TPM-6」や検査専用機「nanoWIN」のほか、導入補助金の受給条件にもある診断レポートの作成に便利なアプリ「Easy Report Plus」などをアピールした

## Diesel Escort



コーヨーラド、光洋気化器、アイ・アール・エス、クノールプレムゼ商用車システムJP、リトラス&セラメックス、東和ディーゼルが連携し、ディーゼルE/Gの適切な整備をサポートする取り組み

## ディクセル



型式ごとに純正・低ダスト・スポーツ型のブレーキパッドを製造し豊富な品ぞろえを誇る同社。自社ECサイトの紹介やユーザーが愛車に合うパーツの診断ができるタッチパネルのデモ機を展示

## 東洋エレメント工業



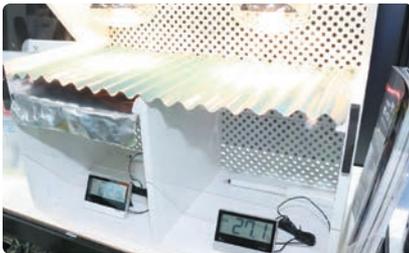
エンジンオイルやエアコンの交換フィルターを開発・製造する同社。PM2.5を対策するエアコン用フィルター「エアクリーズ」はグレードを3段階に分け社用車や愛車需要など各ニーズに応える

## ニッタタイヤ



タイヤの卸業から派生して、今回は日産キャラバン、フィアット・デュカトをベースとした出張整備カーを展示。出張整備カーでのタイヤ交換のデモンストレーションも実施した

## 日発販売



猛暑対策として、工場内の気温を-5度にする遮熱シートや、大型のスポットクーラー等を展示した。遮熱シートに関しては、実際に施工済み、施工していない状態の箱を用意し、違いを体感できた

## 日本特殊陶業



圧倒的な国内シェアを誇る「NGK スパークプラグ」や「NGK イグニッションコイル」、「NTK 酸素センサ」を展示。アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する「アイアクセル」も展示した

## 日本トラックリファインパーツ協会



トラックに特化したリユース部品「リファインパーツ」を紹介。洗浄、加工、保管にもこだわるなど、解体による単なる中古パーツとは一線を画す品質と安心をアピールした

## 日本輸入車整備推進協会



輸入車の整備事業を行う独立整備工場をサポートする団体。サイバーセキュリティーがいち早く強化されている輸入車を整備する上で必要な最新情報が得られるなど、今後ますます期待が高まる

## PIAA



PIAAブランドワイパー、ヘッドライトの新商品を紹介。N-BOXはワイパーゴムを交換する際、ブレードをすべて分解しなければならない欠点があり、これを補う市販用ワイパーを展示した

## BTO



3層構造の撥水タイプ「クリスタープライム」、滑水性と埃の吸着を抑えた「クリスタークォーツELITE」、2層タイプの新世代疎水系「クリスタークォーツFLOW」、汚れにさを強化した「クリスタークォーツSTYLE」

## フォーバル



補助金とM&Aによる他社連携という2つの解決策について、出展者プレゼンテーションを行ったフォーバル。経営悪化、人材不足、技術革新への対応、後継者不足、業界への不信感にどう対処する？

## フックスジャパン



BMW、メルセデス・ベンツ、フォルクスワーゲンなど多くのカーメーカーからメーカー認証を取得している四輪車向けエンジンオイル「TITAN (タイタン)」の製品ラインアップをPR

## 本荘興産



洗車に気を遣うユーザーが増加傾向にある現状にマッチした、手洗い洗車にこだわったツール・方法を提案する同社。ドライバー自身が洗車までを担当する大型車に向けて、車用の洗車ツール・方法も研究開発中

## マツキ



同社の本業は機械工具だが、今回は整備工場向けに洗車、コーティングの新製品を展示した。また、ハイエースに載せることができるリフト機器のデモンストレーションも実施し、注目を集めていた

## ミルウォーキーツール・ジャパン



軽量でコンパクトなボデーに最大逆転トルク745Nmを搭載した「1/2インチ 542Nmインパクトレンチ」。エンジン、ブレーキ、タイヤ周りのほぼすべてのボルトの締緩作業を1台でこなす

## 明治産業



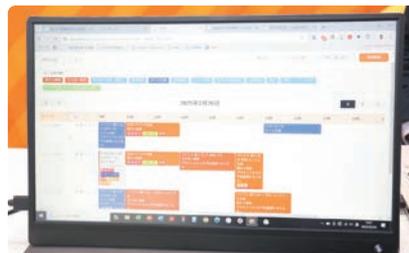
「Seiken Service Shop」で小間全体をコーディネート。大型車整備に関するスキャンツール、ブレーキパッドセンサーテスター、パッシブスピードセンサーテスターなどのJaltest社製ツールを新規出展

## モビリティ・ラボ



自動車整備工場に関する研究を行う事業者で構成された団体。業界に関するあらゆることについての研究結果を自身のWebサイトににて公表・共有する。整備工場も入会、発表が可能

## ヤマウチ



クラウド型車検予約システム「totoco」に新機能が搭載。車検のみならず、自社の整備メニューに合わせて項目を設定でき、作業進捗も一目で分かるようになった

## ヤマト自動車



同社工具ブランド・Seednew、パーツブランド・Moveonの各製品紹介に加え各提携企業と合同出展。内張りクリップからライトの保護フィルムまで自動車整備業界の要望を一手に引き受ける

## リンレイ



ビル清掃で培った経験を活かし、最近ではディーラーのピットの油汚れ専用の洗剤と、洗車機、洗い方のノウハウを提案している。ケミカル+洗浄機の組み合わせによる清掃ソリューションを訴求した

## レックスコム・ジャパン



整備工場向けに、修理に使う純正部品を探して発注できるカタログ+オンラインオーダーサービス「パーツリンク24」を展開している。本国がドイツであることも相まって、欧州を中心に37ブランドに対応している

### セミナーピックアップ

## これからの自動車整備の留意点と高齢化社会への対応

小島一郎氏

あいおいニッセイ同和自動車研究所  
研修部 技監



最近の車両を整備する時には必ずマニュアルの確認が必要であり、新型車が出るたびにその必要性が増している。これは、ADASを搭載した車が増えていることが理由で、すなわち走る曲がるといった基本性能をすべてコンピューターが担っているからだ。そのためメーカーとしては、セキュリティ構造によるハッキングの防止、そしてコスト削減も含めて、エイミングや部品を交換した整備士に対して、メーカーの車両診断ツールへの接続を要求しており、今後このようなケースが増えていくと強調した。実例として、実際にトヨタの車両診断ツール「GTS+」にアクセスし、来場者に分かりやすく指導した。

# イヤサカ、足回り整備機器の実演・展示内覧会を開催

イヤサカ（今井祥隆社長）は、福岡を皮切りに全国7会場（トレーニングセンター）で、足回り整備機器の実演・展示内覧会を開催した。近年、重く高扁平が進んだタイヤをいかに安全かつ効率的に交換するかは重要であり、タイヤも関連するアライメント作業はADASエイミング作業において重要であるため、関連する機器が一堂に介し提案する場として開催された。ここでは3月13日に開催された首都圏トレーニングセンター（千葉県印西市）での模様を紹介する。



## ▶ タイヤチェンジャー S300



コンパクトさに優れたレバーレスオートマチックタイヤチェンジャー。アッパーアームに装着したローターヘッドが組み付けまでの一連の工程をサポートする

## ▶ タイヤチェンジャー S1000



高性能自動機能で多種多様のタイヤ交換作業を快適にこなせるタイヤチェンジャー。LCDタッチスクリーンで、タイヤのサイズに合わせてきめ細かな設定が可能

## ▶ タイヤチェンジャー マーヴェリック



強いパワーと正確性でより簡単に交換できるタイヤチェンジャー。ツールヘッドとベースはホイールサイズに合わせて自動調整。サイズ情報を維持し、再設定の手間を効率化

## ▶ タイヤチェンジャー レボリューション



誰でも簡単にタイヤ交換が可能でありながら、安全性と作業品質を確保したハイグレードモデルのフルオートマチックタイヤチェンジャー。作業時間の大幅な短縮が可能

## ▶ タイヤチェンジャー NS100



デュアルツールの搭載でレバーレス操作を可能にしたNSシリーズのフルスペックモデル。困難なタイヤはレバーレス、一般的なタイヤはレバー操作と使い分けが可能

## ▶ ホイールバランサー HD Elite



大型車に最適なホイールバランサー。227kgまでのタイヤを正確・簡単に持ち上げることが可能。レーザーを使用した独自のシステムで短時間に多くの情報を取得できる

## ▶ タッチレスインスペクション



車両を通過させるだけでホイールアライメントを瞬時に測定するQCD（Quick Check Drive）とタイヤの異常摩耗と溝の深さを瞬時に測定するQTE（Quick Tread Edge）

## ▶ ホイールウォッシャー



化学薬品を必要としない、温水と専用ビーズで、環境にやさしく時間効率の高い方法でタイヤを洗浄できる。大型タイヤ・ホイールのリフトアップも付属リフトで簡単

## ▶ EPBコントローラー



近年増えてきた電子パーキングブレーキの解除は、緊急時の車両移動の際に困難を極める。本製品なら12Vバッテリーに接続することで、タイヤも外さずに解除できる

みんながわかる!

# OBD検査

ON BOARD DIAGNOSTICS  
INSPECTION



第2回

## なぜDTCは カーメーカーによって 違うコードがあるの?



佐野和昭

Profile  
筆者プロフィール

東北大学 工学部卒業後、トヨタ自動車へ入社。アフターサービス部門に配属され、品質管理からサービス企画・改善、部品のマーケティングまで幅広い分野を担当。その後、自研センターの取締役に就任。新しいアルミ修理技法などの修理技術開発を担当し、機械・工具メーカーなどと意見を交わした。現在は、車体整備をはじめとした整備関連業界において複数社の顧問を務めると同時に、セミナー講師やコンサルタントとしても活躍中。



### ■ DTCの規格は何で決まっているの?

前回の連載では、OBD2が排ガス規制の一環として制定されたため、端子の形状や通信方法が規格化されたことを説明しました。ただし、DTCなどの詳細が定義されているのは、エンジンや排ガスに関する国際規格の範囲内に限られています。

今回は、DTCのコード体系に注目し、国際規格とカーメーカー独自の設定範囲、さらに故障名称の違いについて解説します。

DTCの国際規格は、2010年の改定により、従来のISO独自規格から北米規格であるSAE J2012に準拠する形へと変更されました。これにより、現在ではISO/SAEとしてSAE J2012が実質的な国際規格となり、日本国内の保安基準もこの規格に基づいています。

### ■ DTCのコード体系は?

DTCのコード体系は、SAE J2012では基本的に5桁ですが、一部のカーメーカーでは故障をより細かく分類するために、2桁を追加し7桁にしている場合もあります(図1参照)。

1桁目は診断範囲を表し、以下の4種類に分類されます。OBD2は排ガス規制に関連する規格であるため、最初に「P」が設定され、その後「C」「B」「U」が追加されました。

2桁目は一般的な資料では下記のように管理者を示します。

- "0": ISO/SAEが定義するDTC
- "1": メーカーが独自に定義できるDTC

しかし、2002年の改定により3桁目の部位大分類と統合され、管理者グループとして扱われるようになりました。管理者の区分はDTCの理解において重要なポイントとなるため、後ほど具体的なDTCの分析結果を基に詳しく考察します。

3桁目は、対象となる部位やシステムの大まかな分類を示します。しかし、たとえば表1の「P1」に示されるように、分類はあくまで大枠にとどまります。

4桁目・5桁目が加わることで、DTC全体として具体的な故障内容を表す形になります。SAE J2012には、1700種類以上のDTCとそれぞれの故障内容が定義されています。

### ■ カーメーカーごとのDTCの違い

実際にカーメーカーごとのDTCを見ると、同じ故障内容でも表現が異なることが分かります。

たとえば、2桁目が「1」の「P0010」を例にとると、表2の上段に示すように、SAEの定義では「カムシャフトポジションアクチュエータ回路」と表現されています。しかし、同じ「可変バルブタイミングシステム」の故障であっても、メーカーごとに表現が大きく異なります。これは、各メーカーが自社の自己診断結果を、できるだけ近いSAE規格のDTCに当てはめているためです。また、整備解説書に記載される部品名やシステム名がメーカーごとに異なるため、同じDTCでも表現が変わる要因となっています。

一方で、上2桁が「P1」の場合、メーカー間で重複するDTCはほとんどなく、各社が独自に設定・管理しています。また、「P2」や「P3」のDTCも存在し、たとえば「P2119」の場合、表2の下段に示すように、メーカーごとに表現は異なるものの、「スロットルアクチュエータ」関連の故障を示すDTCとして定義されています。

図1 DTCコード体系

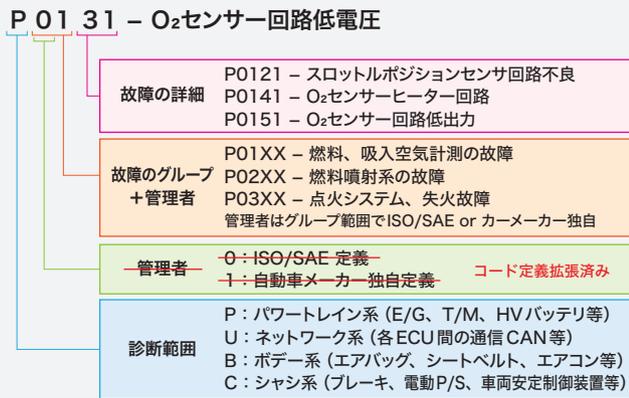


図2 DTCグループ領域別管理者

DTCの2、3桁目で管理者枠を設定  
 枠不足で3桁目は数字+A-Fも使用

		0			1			2			3		
		00-04	05-0A	0B-0F	10-1F	20-27	28	2A	30-33	34	35-39		
P	排ガスOBD												
U													
B													
C													

■ ISO/SAE 管理  
 ■ ISO/SAE 予備  
 ■ カーメーカー管理

表1 P1のグループの定義

グループ	故障内容グループ
P10XX	燃料及び空気の測定、補助排出制御装置
P11XX	燃料及び空気の測定
P12XX	燃料及び空気の測定
P13XX	点火システム又は点火不良
P14XX	補助排出制御装置
P15XX	車速、アイドル制御及び補助入力
P16XX	ECU及び補助出力
P17XX	トランスミッション
P18XX	トランスミッション
P19XX	トランスミッション

表2 DTCのメーカー別の定義の例

TDC	管理者	故障内容
P0010	ISO/SAE	カムシャフトポジションアクチュエータ回路
	トヨタ	吸気VVT バンク1 電気異常
P2119	日産	AカムシャフトポジションアクチュエータB1
	ホンダ	VTC故障
	マツダ	電動可変バルブ・タイミング制御系統：回路異常
	ISO/SAE	スロットルアクチュエータ制御スロットルボディ範囲、性能
P2119	トヨタ	スロットルシステム異常
	日産	スロットルアクチュエータB1
	ホンダ	スロットルバルブ デフォルト位置異常
	マツダ	スロットル・ボデー系統：機械的異常

■ SAE管理とカーメーカー独自管理

2002年のSAE J2012改定により、故障内容の多様化に対応するため、2桁目に「2」「3」が追加で定義されました。これに伴い、管理者の分類は図3のように、グループコードの上2桁の範囲によってSAE管理領域とメーカー独自管理領域に分けられることになりました。

特に注意が必要なのは、2桁目が「2」の場合です。この領域では、DTCが「P」の場合はISO/SAEが管理し、「U」「C」「B」の場合はメーカーが管理するという違いがあります。また、「P3」の領域では、4桁目のコードによって管理者がSAEとメーカーに分かれます。

メーカー独自のDTCが設定される領域（オレンジ色の領域）では、国産メーカーは原則として他社と異なるDTCを使用するよう運用されています。これは、同じDTCで異なる故障内容が設定されると混乱を招く恐れがあるためです。言い換えれば、この領域内では似たような故障内容であっても、メーカーごとにDTCが異なるため、注意が必要です。

■ DTCの故障内容の定義の有無

図2の水色の領域は、SAE J2012において5桁のDTCに

対し、詳細な故障内容が定義されている範囲を示しています。2桁目が「0」の場合、以下のように分類されます。

- 「P0」「U0」：SAEが故障内容を定義
- 「C0」「B0」：メーカーがSAEに申請し、許可されたDTCを登録

排ガス関連のDTCは、図2の「P0」及び「U0」の領域に含まれます。これらはOBD2の保安基準に記載されている排ガスデバイスの診断方法に基づき、異常と判断されたDTCです。

一方、排ガス関連以外の「P0」及び「U0」のDTCは、SAE J2012においてDTCと故障内容の定義はされているものの、詳細な診断条件の規定はなく、保安基準とも直接関連していません。

■ 今回の疑問に対する回答

「DTCには、ISO/SAEの規格で管理されている領域と、カーメーカーが独自に管理している領域があり、後者のDTCはメーカーによって異なる」という結論になります。

第2回では、DTCの体系に焦点を当てて調査しましたが、いかがだったでしょうか？ 本誌と連動したOBD検査に関するオンラインセミナーでは、DTCのコード体系について図を用いて分かりやすく解説する予定です。ぜひご期待ください。

(つづく)

準備運動から  
ていちゃく  
本番まで  
人材を見つめる!

## 第2回 理念を明確にする

前回、人材採用で最も重要なこと、それは「自社にとって適切な人材を採用すること」だと書きました。そのために初めにやらなくてはならないこと、それは「理念を明確にする」ことです。

理念は会社経営の最重要事項です。あなたの会社に「理念」がなければ、本当に欲しい人材は集まりません。

では、理念とは何か？一言でいうと、それは「経営者の価値観と目的」です。

この価値観は、「経営者にとって絶対に譲れないもの」です。人の価値観は十人十色、どんな価値観が正しいか？間違っているのか？ということを決めつけられるものではありません。だからこそ、経営者が自社の価値観＝「理念」を明確にして、それを表明し、共感してもらえような人材を採用しなくてはならないわけです。「お客様をだましてでも売り上げを増やし給料を上げたい」、「多少、法に触れてもラクして儲けたい」……そんな価値観の人に会社に集まってもらいたいと思いますか？

また、目的とは、経営者が考える会社の「行先」とも言えるでしょう。

チームエルがバイブルのように尊重している本「ビジョナリーカンパニー」（ジェームズ・C・コリンズ著 山岡洋一訳 日経BP刊）では、組織をバスに例え、「そのバスに乗るべき『最適な人』を集めることこそが、偉大な企業への飛躍をもたらすために必要なこと」と書かれています。バスがどこに向かおうとしているのか……そのバスの行先（目的）が明確でなければ、バスに乗り込む人材も、それが自分にふさわしいのかどうかの判断が付きません。人材募集とは、言ってみればこの「経営者の価値観と目的」を広く発表し、自分のバス（会社）に乗り込む「適切な人」に気付いてもらうための作業なのです。

経営者の価値観と目的を見直し、会社の「理念」を明確にする。するとおのずと、自社にとって「本当に欲

しい人」が集まってくる。このように人材採用のスタートを考えていただきたいのですが、多くの企業が、まず自分の会社について考えるのではなく、とにかく人材を確保することによって躍起になってしまいます。

自社がどんな会社で、何を価値観とし、どこに行こうとしているのか、そうしたことを宙に浮かせたままに、人手が足りないからという理由だけで募集活動を始めても、たとえ採用できたとしてもすぐに辞めてしまう、お互いが「こんなはずじゃなかった」と悲しい結末になるわけです。そしてまた、決して安くはない費用をかけて募集活動を繰り返す……。このスパイラルから抜け出すために経営者がすぐに始めなくてはならないこと、それが「自社の理念を明確にすること」なのです。

### 新刊案内

チームエルの書籍「人が育つ会社、育たない会社」が3月11日に出版されました。本書では、①企業理念を定め、②自社に合った人材を採用する基準と仕組みを整備し、③入社した社員の自らの頑張りや正当に評価される仕組みで定着を図る、の3つの方策について詳述します。

著者：株式会社チームエル堀越勝格/江蔵直子/矢澤知哉  
時事通信社 価格 1,980円（本体1,800円+税）。



### 筆者プロフィール

株式会社チームエル 取締役CMO。2006年に愛車広場カーリンクのチェーン展開開始と同時に、カーリンク基礎研修の開発に着手、その後も直営店の出張査定センターのマネジメントやディーラーコンサルティングなど、幅広く様々な仕事を経験、2014年からはCaSSの会員制度を立ち上げ、会員向けのサービスや企画を開発。

# デジタル集客術

本連載はデジタル集客に悩む整備工場を助けるべく、  
現役の整備工場マネージャーが背中を押すものである!



## 第2回 デジタル集客とアナログ集客 やる・やらないの線引きは?

みなさまこんにちは!今回は「デジタル集客とアナログ集客 やる・やらないの線引きは?」です。ラチェットモンキーでデジタル集客に傾注し始めて早いもので10年が経つのですが、「え!?!両方とも”やらない理由”ってあるの!?!」と大変驚いてしまいました。だって、少子高齢化にターボがかかっているわけじゃないですか?ならば、お客様の数って悲しいかな自然減していきますよね?これって、栓が抜けているバスタブに水を貯めているようなもので、抜ける量以上の水を蛇口から出し続けないと、バスタブに水なんて貯まらないじゃないですか……。

そこで、私たちはお客様数を確保するために集客作戦を練るわけですが、皆様ご存知の通り新聞紙の定期購読帯は年々減ってきています。日本新聞協会さまの情報によりますと、2024年は全国で約2,660万部にまで落ち込んでおりまして、なんと、10年前から4割以上も減っています。「毎度おなじみちり紙交換～」って軽トラが古新聞回収に走っていたのをZ世代の方々に話すと「何ソレ!?

超エモい!」と喜んでしょね(笑)。

冒頭に、ラチェットモンキーでは10年ほど前からデジタル集客に傾注していると書きましたが、世情を先読みしてデジタル集客にハンドルを切ったとかいう、高尚なモンではありません。「メカニックのお給料を上げたい!」この想いから「ん?販管費って何を削ったら減らせるんや?」と悩みに悩んだ結果、たどり着いたのがホントのところですよ。

まず着眼したのが、各媒体のCPO(Cost Per Orderの略/オーダーを取るためにかかった経費)と総在庫数の対比でした。「オリコミは〇万円で〇件か、まあこんぐらいのもんやろ。ポスティングは〇万円で〇件、オリコミと比べるとやっぱ件数少なえなあ……。Web戦略全般だと、え?〇千円で〇件!?!超安いし件数も多いやん!!え?ちょ!これ!コストバ激ヤバなんですけど!?(数字忘れちゃってすみません……)」こんな感じです。

そこからWeb戦略を勉強していくわけですが、すべて視える化がなされますので、机上で自分の思う通りの空中戦を繰

り広げられる上、コストをあまりかけることなく永続的に効果が出る仕組みが数多くあります。ケチんぼの私からすると垂涎ものでございます。

もちろん、車検コールなど、アナログ集客もやっています。しかしターゲットは「ラチェットモンキーを利用したことがある方」です。電話以外はほぼほぼデジタル全振りという感じですね。CPA(Cost Per Actionの略/お客様を獲得するためにかかった費用)にも着目したら、増客も狙えますし、リアルではしづらかった「ABテスト」ってヤツも容易にできます。ンなもん取りつかれたようにドはまっていけるのは自然の摂理ってヤツですよ。

デジタル集客も、アナログ集客も、何を目的にやっているのかをつまびらかにし、コスパとボリューム数で効果測定をしていくと、どこに傾注すべきか答えが出てきます。「やるの?やらないの?線引きは??」って悩むのも良いけれど、やんなきゃ何も始まりません。「服を着ながら走る」、これで良いと思います!集客戦略、楽しんでやっていきましょう!!



### 筆者プロフィール 人見いづみ

メカニック全員が退職するという、悪夢のような経験を経て、たった2名からオリジナルブランド「ラチェットモンキー」を立ち上げ、3店舗・年間のべ利用客数30,000人・車検台数6,500台を実現。現在は自社開発した予約システム「totoco(とっとこ)」を販売しながら、講演活動にも取り組む。

株式会社ヤマウチ

<https://totoco.biz/>



## 第2回

# 事例：EV・ASV 対応機器を導入

## 事例と解説 整備業のための 補助金活用講座

フォーバル 山田健一

今回は、自動車整備業を営むA社が補助金を活用した次の一手の事例をご紹介します。

A社は関西エリアで自動車整備・钣金塗装・販売を手がけ、事故整備を中心に法人顧客から高い評価を得てきました。若い整備士を多数抱え、技術力と設備力を武器に、整備・钣金塗装・販売をワンストップで提供し、地元企業やディーラーとの厚い信頼関係を築いてきました。

しかし、コロナ禍や原油価格高騰が直撃し、法人顧客の営業車稼働減や部品調達難が重なり、売り上げ・利益は大幅に落ち込んでしまいました。加えて、従来主力であるガソリン車や溶剤系塗料での塗装の市場は縮小傾向にあり、事業環境は厳しさを増しています。一方、環境意識の高まりや電気自動車（EV）、先進安全自動車（ASV）といった次世代自動車の普及が想定されているため、これらに対応できる整備工場への転換が必要だと考えていました。

A社では、自社の強みである電装系の整備技術の高さを活かし、次の一手として「次世代自動車対応型整

備事業」への転換を決断しました。

具体的には、EV・ASVに対応した設備を導入し、近隣の競合との差別化を図ります。整備部門では、高電圧バッテリーの整備や電装関連の点検が行える専用設備を整備し、スキャンツールやアライメントリフト、エーミング機器、急速充電スタンドなどを導入します。塗装部門では、これまで主流だった有機溶剤系塗料から、環境負荷の少ない水性塗料に全面転換。欧州車や次世代車で主流となっている水性塗装に対応することで、取引先の損保会社やディーラーの要望にも応えるようになります。

また、法人顧客だけでなく、個人のEVユーザーや外国車オーナーにも積極的にアプローチし、新規顧客の獲得を目指します。既存顧客には車販やメンテナンスパックのクロスセルを強化し、顧客単価とリピート率向上を狙います。営業面では、クラウド型の顧客管理システムを導入し、顧客データを活用した提案営業やDM配信を自動化。事務作業の効率化と顧客満足度の向上を図ります。

今回の取り組みにかかる投資額は約7千万円。設備導入と同時に技術者の増員・育成にも力を入れ、3年以内に次世代自動車整備事業の売上構成比を10%以上に引き上げる計画です。

導入する設備は、地域で普及が進むであろうEVユーザーにとっても利便性の高いものとなりそうです。

急速充電スタンドの設置は整備以外の来店動機となり、水性塗装対応はSDGs意識の高い企業や個人顧客にも響き、他社との差別化を図れると考えています。

また、従業員育成にも注力し、メーカーや損保会社の講習に加え、今回の設備導入に伴う技術研修を実施。既存社員のスキルアップはもちろん、新規採用の若手育成にも力を入れ、人材の長期定着を目指します。

環境対応と利益体質の強化を同時に実現しようとするA社の挑戦は、変革期にある自動車整備業界にとって大いに参考になるのではないのでしょうか。

次回も業界の補助金活用事例をお届けします。



### 筆者プロフィール

国内大手EC会社にてマーケティングを担当。その後、大手M&Aアドバイザー会社にて上場企業の経営戦略立案やM&Aアドバイザーとして数多くのM&Aを実行支援。2016年に(株)フォーバルの事業承継支援事業立ち上げに参画。自動車アフターマーケットでの後継者問題の解決、補助金支援に力を入れている。

事業承継・M&Aのご相談はこちら

## 株式会社フォーバル

事業承継支援部

自動車アフターマーケットチーム責任者 山田

TEL:0120-37-4086

<https://forval-shoukei.jp/>



## 第58回「整備需要等の動向調査」の集計結果を発表

### ▶ 日本自動車整備振興会連合会

日本自動車整備振興会連合会（喜谷辰夫会長）はこのほど、第58回「整備需要等の動向調査」の集計結果を発表した。調査は昨年12月時点のもので、全国の専門認証240、専門指定430、ディーラー指定333の計1,003工場から回答を得ている。

それによると、2024年7～12月の総売上高DI\*は19.9で、前期（2024年1～6月、4.3）から15.6ポイント上昇し過去最高を記録した。業態別に見ると、専門認証が5.9ポイント上昇し11.7、専門指定が19.7ポイント上昇して11.7、ディーラーが14.7ポイント上昇して53.2といずれも改善した（表1）。

同期の総在庫台数DIは-0.7で、前回（-9.2）より8.5ポイント上昇した。業態別では、専門認証は3.2ポイント低下して-17.9となったが、専門指定が16.1ポイント上昇して1.4、ディーラーが5.9ポイント上昇して9.0と、それぞれ改善した。

今後半年間（2025年1～6月）の予想整備売上高DIは-1.0（前回調査時-7.7）、予想在庫台数DIは-10.1（同-15.7）で、ともに前回から改善。業界全体の現在の景況感DIは-32.1（同-36.4）とこちらも改善の見込みをみせた。

整備士（労働力）の過不足感DI（表2）は、前回（-66.5）から1.1ポイント改善し-65.4。業態別に前回と比べると、専門認証は-39.1で前回から2.7ポイント増加し、ディーラーは-83.4と前回から4.5ポイント増加と7回ぶりに改善したが、専門指定は-66.0で前回から2.2ポイント低下した。

2024年7～12月に整備士の求人募集をした事業場は全体の60.1%で前回調査時よりも0.4ポイント上昇した。業態別では専門認証が17.9%（前回19.0%）、専門指定が59.3%（前回57.2%）、ディーラーが91.6%（前回92.1%）となっており、業態間での差は依然大きいまま。その募

集経路（表3）では、いずれの業態においても「ハローワークに求人申し込み」（45.2%）が最も選ばれている。さらに「自社WEBサイトに掲載」（27.0%、前回22.9%）、「民間求人サービスに掲載」（26.4%、前回24.9%）とそれぞれ増加。業界全体の整備士不足の現状が続いている。

表1 直近半年間の実績・今後半年間の業績予想

		直近半年間の実績		今後半年間の業績予想	
		総整備売上高	総在庫台数	総整備売上高	総在庫台数
専門認証	プラス成長(%)	25.0	22.5	18.3	16.3
	マイナス成長(%)	36.7	40.4	38.8	40.0
	DI	-11.7	-17.9	-20.5	-23.7
専門指定	プラス成長(%)	39.8	34.2	24.4	22.3
	マイナス成長(%)	28.1	32.8	30.2	32.1
	DI	11.7	1.4	-5.8	-9.8
ディーラー	プラス成長(%)	66.4	40.2	41.4	31.8
	マイナス成長(%)	13.2	31.2	22.2	32.4
	DI	53.2	9.0	19.2	-0.6
合計	プラス成長(%)	45.1	33.4	28.6	24.0
	マイナス成長(%)	25.2	34.1	29.6	34.1
	DI	19.9	-0.7	-1.0	-10.1

表2 整備士（労働力）の過不足の状況

専門認証	過剰	0.0%
	やや過剰	1.7%
	やや不足	22.9%
	不足	17.9%
	DI	-39.1
事業指定	過剰	0.5%
	やや過剰	1.4%
	やや不足	36.5%
	不足	31.4%
	DI	-66.0
ディーラー	過剰	0.0%
	やや過剰	0.6%
	やや不足	36.0%
	不足	48.0%
	DI	-83.4
合計	過剰	0.2%
	やや過剰	1.2%
	やや不足	33.1%
	不足	33.7%
	DI	-65.4

※DIはプラス長（景況感DIでは「かなり良い」+「やや良い」、過不足DIでは「過剰」+「やや過剰」）と回答した事業者の割合-マイナス成長（景況感DIでは「かなり悪い」+「やや悪い」、過不足DIでは「不足」+「やや不足」）と回答した事業者の割合

表3 整備士の求人募集の実績（複数回答）

専門認証	ハローワークに求人申し込み	14.6%
	民間求人サービスに掲載	4.2%
	自社Webサイトに掲載	4.2%
	何もしていない	80.0%
	その他	1.3%
	無記入	2.1%
事業指定	ハローワークに求人申し込み	49.8%
	民間求人サービスに掲載	20.5%
	自社Webサイトに掲載	14.0%
	何もしていない	40.5%
	その他	4.7%
	無記入	0.2%
ディーラー	ハローワークに求人申し込み	61.3%
	民間求人サービスに掲載	50.2%
	自社Webサイトに掲載	60.4%
	何もしていない	6.9%
	その他	10.2%
	無記入	1.5%
合計	ハローワークに求人申し込み	45.2%
	民間求人サービスに掲載	26.4%
	自社Webサイトに掲載	27.0%
	何もしていない	38.8%
	その他	5.7%
	無記入	1.1%

## 取りこぼしのない見積りで収益増 トータルカーライフサポートを目指す

### K&D・多摩ボデー整備

社長＝浦松一樹 所在地＝東京都調布市東つつじが丘1-15-3  
使用ソフト＝ラクロスII



### 廃業危機から工場新生へ

東京都調布市に工場を構える同社。渋谷区や港区からのアクセスが良く、高級輸入車の入庫も多い同社は58年前、先代の秩父重庸氏が経営していたガソリンスタンドで始めた钣金サービスからスタートした。

当時は钣金塗装需要の高まりに応じて複数の工場を設立、これまで地域に根付いていた。

しかし近年、事業を縮小。残った工場は現在の事業所のみ。事業承継もうまくいかず廃業という選択肢が現実味を帯びてきたその時、先代の孫で現副社長の古澤大紀氏から相談を受けた当時ディーラーのメカニックだった現社長の浦松一樹氏が手を挙げた。

「古澤副社長とは幼なじみで絶対的に信頼している。二つ返事で引き受けた。独立を考えている良いタイミングだった」。古澤副社長も当時勤めていた食品メーカーを辞し2人で新会社を立ち上げ、屋号を引き継ぎ工場が新生した。

スタッフの平均年齢は30歳前後と低く、浦松社長自身も31歳と若手だが、経験年数10年以上のベテランが

そろい、意思疎通がしやすく、業務がスムーズ。ここまでのスタッフがそろったのは様々なピンチのおかげだと言う。「先代の時からいた塗装技術者が辞めてしまったが、その紹介で別のスタッフが入り、今でも活躍している。しかしそのスタッフが事故に遭い、また人手が足りなくなった時、彼の以前の職場の同僚がヘルプに来て、そのまま勤めてもらうことになった」とピンチのたびに新たなスタッフが駆けつけ、「気が付くと精鋭が集まっていた」。

さらに2月には自身が勤めていたディーラーの工場長に猛アプローチし役員として迎えた。「自分より年上のスタッフが多くどうなるか不安だったが、ついてきてくれて感謝している。今後も皆が働きやすいようフォローに徹する」。

### 見やすい画面構成と操作性で 取りこぼし減少へ

スタッフがそろう中、整備事業の拡大を検討していた際に、塗料販売店からの勧めで以前使っていたソフトから整備にも対応できるラクロスIIに切り替えた。「試した時に、画面構成が見やすく感覚的に操作できるので気に入

っていた。钣金塗装にも整備にも対応できて業務の幅が広がる」と好感触だったのが決め手となった。導入後、以前の見積りと比較すると多くて2～3万円の差異が出て、その差に驚いたという。

「感覚的に操作がしやすく項目も分かりやすいので指数の取りこぼしがなくなったのが大きい。細かいところまで見積りに落とし込めるので助かっている」と浦松社長は満足げに話す。「点検時期のリマインドや入庫予約のフォロー、顧客管理に売り上げ分析など、事業所経営に総合的に使える上、他社ソフトとの連携が可能なのも大きな強み。今は事業拡大に向けて車販ソフトとの連携を進めている」。

今後は指定整備工場の新設を計画しており、本格的に整備に力を入れていく。「ゆくゆくはディーリングや中古車買い取りも開始し、ディーラーのようなトータルカーライフサポートを目指したい」。

自社について「最強のスタッフがそろった最高の工場」と話す浦松社長。確かなビジョンを掲げ、今後もスタッフたちと輝かしい未来へ歩みを進めていく。



浦松一樹社長（写真右）と古澤大紀副社長



「わが工場のアベンジャーズです！」と浦松社長は胸を張る



ラクロスIIで取りこぼしのない見積りが可能に



# 業界の問題課題に 「王手」

強化したいポイントだけ  
無駄なく選べる統合システム

ラクロスⅢ  
**RACROS Ⅲ**

豊富な情報で業務を支援する  
鈹金塗装見積りシステム

鈹金塗装見積りシステム  
**Morenon Ⅲ**

# Protorios Aftermarket Seminar

プロトリオスのお届けするオンラインセミナーのご案内



オンラインセミナー開催中  
参加費：無料

配信スケジュールはQRコードよりご確認ください

自動車アフターマーケットに関する  
知りたいこと、知っておくべきこと  
すべてここで学ぶことができます

本紙連載中

## 自動車整備業界のDX

誌面だけではお伝えできないこと、誌面では書ききれない内容など、オンラインセミナーを通じてさらに詳しくご説明いたします！

終了	第1回配信	1月29日(木)
終了	第2回配信	2月22日(土)
終了	第3回配信	3月26日(木)
	第4回配信	4月30日(水)

※配信日は予定です。予告なく変更する場合もございますので予めご了承ください。

視聴料：無料



講師紹介  
小野健一

ビズピット代表取締役。大学院修了後、自動車部品メーカーにて用品の企画から設計・販売までを担う。2020年、アフターマーケット向けの事業開発を行うビズピットを創業。現在は自動車整備工場向け事業の開発、顧問での経営支援等を行う。

本紙連載中

「現役マネージャーいづみのデジタル集客術」の著者が講師を務めます

## わずか1年で新規顧客が44%増!

たった2名で始めたオリジナルブランド「ラチェットモンキー」は今や年間利用客数30,000人  
フロント現場から叩きあげの筆者が教える集客術

視聴料：無料



講師紹介  
人見いづみ

1992年、ヤマウチに事務職員として入社。「メカニックにとって良い職場でなければ良いお店はつukれない」を持論として「ラチェットモンキー」を立ち上げる。ネット車検予約管理サービス「totoco(とっとこ)」販売に携わりながら、講演活動などアドバイザーとしても活躍中。

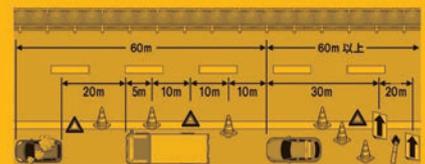
他にも皆様のお役に立てるオンラインセミナーをご用意しております。上記QRコードよりご確認ください

## 車積載車による事故車等の排除業務に係る 自家用自動車の有償運送許可のための研修



受講いただくことで、道路上の事故車および故障車を運送できるようになります

(有償運送許可を受けた運輸支局管内に限る)



4月以降も順次開催予定

開催スケジュールは <https://bsrweb.jp/products/training/information.html> にてご確認ください



[ホームページ]  
<https://www.proto-rios.co.jp/>



[BSRweb]  
<https://bsrweb.jp/>

# カオカラ

## AIカメラで暑熱環境に新しい管理を

現場でこんな暑熱対策の課題はありませんか？

- ✓ 作業現場が暑く、対策を探している
- ✓ 作業員全員への声かけや体調確認は困難
- ✓ 作業員から管理者への体調に関するコミュニケーションが不足

工場・建設現場など、暑さが課題になる様々な現場で  
ご使用いただいています！



結果は約 **3** 秒で表示！

わかりやすい **4** 色表示

### カオカラ3つの特長



#### 精度高い顔解析 AI

専用に学習された AI による顔の変化の推定と外環境情報を統合し、管理者や作業員に気付きを与えます。



#### 手軽な設置 × 運用

専用タブレットを設置し起動すればすぐに使用でき、管理運用も簡便です。



#### 全体管理

結果は一元集約され、手元のパソコン等でいつでも履歴確認が可能。現場の労働管理に活用できます。

(ご注意) 本機器は熱中症そのものの診断、治療を目的としたものではなく、医療機器ではありません。

# POLA MEDICAL

〒244-0812 神奈川県横浜市戸塚区柏尾町560 EMAIL/pola.heatstroke@pola.co.jp



# OBD検査・整備兼用スキャンツール

次世代車載通信プロトコル DoIP (ISO13400) 対応

HV/PHV/EVの駆動用バッテリー診断機能搭載!

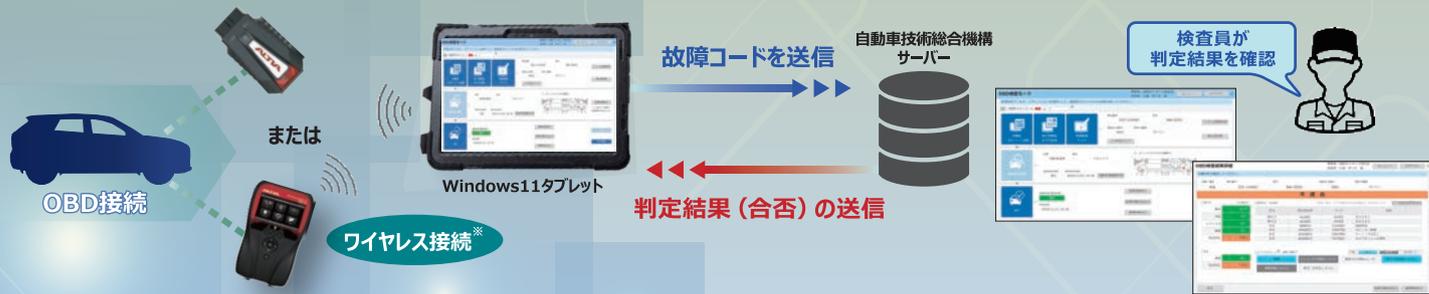
EDR (事故記録装置) の読取機能搭載

## ▶ スキャンツールを使用したOBD検査操作イメージ

STEP1 検査開始

STEP2 合否判定

STEP3 判定結果の確認



※OBD検査には「特定DTC照会アプリ」と「J2534ドライバー」がインストールされたWindows10以上搭載タブレットまたはPCと別途インターネット環境のご用意が必要です  
※USBを使用した有線接続も可能

Windowsタブレット型スキャンツール  
**SSS-T3**

OBD検査 型式認定取得  
JASEA-KS-34

OBD検査も車両診断もワイヤレス!  
診断ビジネスをトータルでサポート!

国産乗用車・国産トラック・  
主要輸入車・スーパーカー 全23メーカー対応!

車両データアップデート  
3年間無料!

車両修理ホットライン  
1年間無料!



ハンディー型スキャンツール  
**SSS-a III**

OBD検査 型式認定取得  
JASEA-KS-29

乗用車・大型車・  
輸入車の診断にマルチに活躍!

国産乗用車・国産トラック・  
主要輸入車・スーパーカー 全20メーカー対応!

車両データアップデート  
2年間無料!

エーミング・  
DPF強制再生対応

EASY Report Plus

スマホ・タブレットから  
リモート操作・  
レポート発行が可能!



※専用アプリのインストールが必要  
(iOS/Android対応 無料)

